

学生の確保の見通し等を記載した書類

平成 31 年 4 月

宇都宮大学共同教育学部
群馬大学共同教育学部

学生の確保の見通し及び申請者の取り組み状況

目次

(1) 学生確保の見通し	p. 3
① 定員充足の見込み	p. 3
② 学生定員について	p. 6
(2) 学生納付金の設定の考え方	p. 8
(3) 学生確保に向けた具体的な取り組み状況	p. 8
(4) 人材需要の動向等社会の要請	p. 9
資料	p.11

(1) 学生確保の見通し

① 定員充足の見込み

(志願状況)

宇都宮大学教育学部は学校教育教員養成課程と総合人間形成課程の2つの課程を持っていたが、平成28年に学校教育教員養成課程一本に改組された。平成27年以降の学校教育教員養成課程の入学試験の実質倍率は、資料A1-1に見られるように、入試全体では2.1～2.6倍であるが、前期日程と後期日程を合わせた一般入試では2.0～2.7倍であり、一年おきに増減するいわゆる隔年現象を見せている。一方、推薦入試においては、2.5～3.3倍と2倍を大きく上回っている。一般入試において宇都宮大学教育学部は、類似する教育分野をまとめた系単位の入試を行っている。系ごとに入試状況を見てみると、教科理系が改組後の前期日程では1.6～1.9倍と2倍を下回ってはいるが、他の系ではおおむね2倍を超えている（募集定員一ケタの後期日程は変動が大きい）。教育学部にたいする期待度を示すものと考えられる推薦入試IB（系・専攻を指定しない、学部全体一括の推薦入試）は2.0～2.4倍であり、十分に高い値となっている。

一方、群馬大学教育学部（資料A1-2）は、平成30年度こそ入試全体及び一般入試で2.2倍と低い結果であったが、それ以外では漸減傾向はあるものの2.6～4.4倍と高い倍率を示している。群馬大学教育学部は教育人間科学系以外では、一般入試、推薦入試とも専攻単位の入試を行っていることから、専攻単位での状況を見ると、専攻によっては隔年での増減があるものの、2倍ないし2倍を上回る状況にあり、定員割れを起こした年度はない（教育人間科学系の教育・教育心理・障害児教育の3専攻については、系単位の大枠入試を行っているので平成30年度入試においても実質倍率は1.6倍である）。

周辺大学の教育学部の志願状況と比べると、両大学とも志願倍率は少し低いが、おおむね2倍強の安定した倍率であり、受験生の学力を評価し入学者を選抜できるだけの志願状況を維持していると考えられる（資料A2）。

(地元からの志願状況)

最近6カ年の県内高校等出身者の内訳を示したものが資料A3である。宇都宮大学の場合、地元からの志願率はおおむね50%前後で、合格者・入学者での地元比率はともに60%前後であり、志願段階の比率よりも10ポイントほど高い。この傾向は群馬大学の場合も同様であるが、群馬大学の特徴は県内出身者の志願状況が60%を超える高いことで、地元志向の強い高校生が志願していることがあげられる。さらに、入学者についてみると、群馬県出身者は70%を十分に越える状況にあり、志願者レベルでの群馬県出身者の占める割合よりも、宇都宮大学と同様に10ポイントほど高い状態で推移している。この両大学の状況は、他県出身者に比べ学力レベルの高い県内出身者が多数受験し、合格・入学していることを示している。実際、高校の進路指導教員との面談でも、「学年のトップクラスの学生に受験を薦めている」との声がある。

他県出身の入学者の構成としては、近隣の埼玉県・福島県・茨城県が目立つが、最大でも10%以下である（資料A4）。実際、平成30年度の両大学教育学部志願者数のべ

スト 40 校をみると、25 校(宇都宮大学)及び 30 校(群馬大学)が地元県出身者であり、さらに上位 20 校に絞ると、共に 17 校までが地元の県内高校出身である。また興味深いことには、宇都宮大学を志願する上位 40 校のうち群馬県内の高校は 1 校のみであり、また群馬大学を志願する栃木県内の高校は 3 校のみで、かつ 2 校は栃木県最西端の足利市の高校である。群馬県出身の宇都宮大学入学者、並びに栃木県出身の群馬大学入学者はともに 5 % 程度であり、近接県でありながら相互の行き来が少ないという特徴がある。

これらの特徴は、両大学教育学部と県内高校・教育委員会との間で培ってきた強い連携関係によるものであり、その関係は高校生にも進路指導の先生などからのアドバイスなどを通して伝わってきたことによると考えられる。また、両県の生徒にとって、宇都宮大あるいは群馬大出身の先生から授業を受けたことのない生徒はいないことも大きい。このような条件の下で、高校生の強い地元志向の傾向が今後大きく変わるということは考えられない。つまり、両大学にとって県内からの志願者の確保が、定員充足ということだけでなく、入学者の学力レベルの確保という点でも極めて重要なものであることが分かる。

(栃木県、群馬県内高校生に対する共同教育学部についての意識調査)

宇都宮大学教育学部では、共同教育学部構想に対する現役高校生の意見を聞くことを目的として、平成 31 年 4 月上旬にアンケート調査を実施した。アンケートは、宇都宮大学教育学部への進学者が多い栃木県内の高校 8 校に依頼して、主として将来教員を目指している 2、3 年生を中心に、共同学部構想パンフレットを読んだうえでアンケートに回答してもらった。以下にアンケートの集計結果について述べる(資料 A5-1)。

回答者は 8 校合計で 246 名であった。内訳は、男子 92 名、女子 154 名、学年別では、2 年生 92 名、3 年生 154 名であった。

資料より、今回の回答者の 73% が教員志向の高校生であることが分かる。パンフレットを読んだ感想として、89% の高校生が共同教育学部のメリットについては理解したと回答したうえで、共同教育学部を作ることによって期待される特徴については、資料の(4)のような回答が得られた。これを見ると、どの項目に対しても肯定的な回答が 80% を超えており、高校生が共同教育学部に対して非常に肯定的に受け止めていることが分かる。特に、幅広い教育が受けられること、群馬大学の講義を受講できることに対しては 60% 以上の高校生が意義を感じると回答している。また、メディアを使うことにより、ほとんどの講義を自大学で受講できることにメリットを感じつつ、相手大学の学生との交流にも高い期待を持っていることが分かる。

総合的に見て、共同教育学部を受験したいかという問いに対しては、将来教員をめざす高校生のうち、86% の高校生が受験したいと回答している。その理由を聞いたところ、地元の大学であることと、教員養成学部であることが大きな理由であるものの、「共同学部に魅力を感じたから」という回答も約 20% あった。今後広報活動に積極的に取り組むことにより、高校生の理解を得ることは十分に可能であると考えられる。

同様に、群馬大学教育学部においても、群馬県内の高校を中心に、群馬大学教育学

部への志願者数の多い高校の生徒（平成 30 年度現在 1、2 年生中心、445 名）に対して、共同教育学部の構想についてのアンケート調査を実施した。実施に当たっては、事前に進路指導の教員に連絡し、関心のある生徒に集まってもらい、群馬大学教育学部教員が本設置構想の概要（設置の背景・必要性、目的・趣旨、共同教育学部の特色、教育課程の概要・特色、入学試験の概要等）を説明した。その上で、本設置構想に関する意見および入学意思などの設問についての回答を得た。（資料 A5）

回答者総数 445 名のうち、学校教員志望者は 375 名で 84.3% であり、今回の意識調査が教員志望者からのアンケートとして考えることができることがわかる。群馬大学教育学部志望者は「少しは入学したい」という生徒まで含めると 404 名で 90.8% という高い比率である。また、共同教育学部を作ることについての理解を聞いた質問では、「ある程度は理解できる」と答えた生徒まで含め、434 名という高い数字で、昨今の少子化・教員需要減という小中学校教員志望者にとっての厳しい状況を、生徒たちはかなりの程度まで認識していることが分かる。共同教育課程の特色の中で、特にどこに関心を持ったかという問いについては、「群馬大学の教員からだけでなく宇都宮大学の教員からも学ぶことができ、充実したスタッフと教育プログラムによって幅広く多くのことが学べること」、「地元にいながら教員となるための教育を自大学で受けられること」、「新学習指導要領に対応した新規の授業を受けることができること」などの意見があり、本共同教育学部の設置構想が狙っていた目標・効果について高校生からの期待が大きいことが伺える。

今回設置しようとしている共同教育学部への受験意思を尋ねた質問では、「受験したい」、及び「少しそう思う」まで含めると、401 名（90.1%）ときわめて高い結果である。その教員志望理由については、地元の国立大学だからという理由が大きい。共同教育学部の仕組みに魅力を感じて、受験しようと思うかという問いには約 1/3 の生徒しか反応していない。これは、これまでの群馬大学教育学部の教員養成実績に対して強い信頼があり、共同教育学部設置により教育学部の教育の仕組みには本質的な変化がないことを理解した結果であり、地元の国立大学で教員になることができるシステムがあることが高校生にとって最も重要で、それがあってこそその共同教育学部であり、特別に「共同教育学部の仕組みに魅力を感じる」のではないのだと考えられる。また同時に、129 名（34.4%）という多くの高校生が共同教育学部に魅力を感じてくれるということは、彼ら・彼女たちが教育学部への受験志望意欲がはっきりとしており、群馬大学の教育学部がどうなっていくのかを気にかけていた生徒たちだったと考えられる。

共同教育学部に対する感想について自由記述で書いてもらった典型的な意見をみると、総体として、非常に肯定的で期待感が高いことがわかった。

（人口動態及び大学等進学率の動向）

栃木県、群馬県、埼玉県の人口動態調査（資料 B1）を見ると、18 歳人口は平成 30 年度では栃木県 1.85 万人、群馬県 1.99 万人であり、埼玉県は 6.97 万人と栃木・群馬両県の約 3.5 倍となっている。大学受験年齢の 18 歳となる人口の将来推計で考えると、社会増・減を考えに入れないと、栃木県では 94.2%（5 年後）、88.2%（10 年後）、埼玉

県では 93.5% (5 年後)、91.2% (10 年後)なのに対して、群馬県は 87.9% (5 年後)、80.4% (10 年後)と極めて大きく減少している。群馬県では少子化の急速な進行があることが分かる。大学等進学率は栃木・群馬県ともおよそ 52%でほぼ安定しており、また大学進学率では地域としてもほぼ変化は見られないが、栃木県が 48.4%と 47.0%の群馬県よりも少し高い結果 (H28 文科省データ) となっている(資料 B2-4)。

以上のことをまとめると、少子化に伴う教員需要の減及びそれを加速させる退職教員の減(後述)という現実をふまえ、地元志向の強い高校生に対し質の高い教員養成教育を基礎にして、教員就職に確実に繋がる定員管理を行うことが大切であり、それによって両大学の共同教育学部ともに定員を十分充足できる状況にあるといえる。

② 学生定員について

(県内・近隣大学の中学校教科免許状況)

栃木県・群馬県内の他大学の中学校教科の免許状況を資料 C1 に示す。社会、英語、保健体育等については複数の大学で免許取得が可能となっているが、県の教員採用に実質的に影響している大学は限られており、教員採用実数としてはほとんどいないという状況である。また、数学、理科、技術という理科系教科に関しては宇都宮・群馬大学以外の大学はほとんどない状況であり、両県の義務教育課程の運営にとって、宇都宮大学・群馬大学はその基幹的な位置を占めていることがわかる。

(年齢別教員数)

資料 C2 に群馬県、栃木県並びに全国の公立小中学校の年齢別教員数(平成 28 年度版)のデータを示す。おしなべて、平成 37、38 (令和 7、8) 年頃の時期から急速な退職者数の減少期に入る。群馬県の場合、栃木県と比べ、平成 42、43 (令和 12、13) 年という早い時期に退職者数の最少期に入り、多少の揺り戻しがあるが平成 50(令和 20) 年頃からはほとんど変化がなくなり退職者はピークの平成 30 年度退職者の 5 割強程度にとどまっている。一方栃木県の場合、最少期に入るのは群馬県よりも遅く、平成 47、48 (令和 17、18) 年度の退職であるが、群馬県と同様にその後もピーク時の半数程度で推移している。全国の動向は、最少期は平成 46、47 (令和 16、17) 年頃であるが、その後平成 60 (令和 30) 年頃には回復しピークの 7 割強程度まで増加している。退職者の減少は教員需要の減少を意味し、少子化による小中学校の生徒数の低下と相まって、さらに強く現れてくることとなる。以上の結果、設置後完成年度での卒業生に対する、定年退職者の減による教員需要減の影響について、栃木・群馬両県では特に考慮が必要であることがわかる。

(教員養成課程の大学別就職状況)

文科省提供の教員養成課程の大学別就職状況(資料 C3)によると、宇都宮大学の教員就職率は、平成 25~28 年頃は 70%を上回る高い就職率をあげているが、直近の平成 30 年度では全国平均を下回る状況にある。この理由としては、平成 28 年改組により改編され分離した総合人間形成課程の影響があるものと考えられ、実際、未就職者は

全国平均を大きく下回っている。一方、群馬大学の教員就職率は平成 25～30 年にわたっておおむね全国平均を上回る 70% 強の数字であり、特に正規採用者が多いことが特徴になっている。また、大学院進学者及び民間就職者を除いた未就職者も極めて少なく、教員志望者はおおよそ希望通り教員に採用となっている。

(近隣県を含めた教員採用試験状況)

資料 C4 で、小中学校教員の採用試験合格者の周辺県の結果との比較を示しているが、群馬県は採用者数が一番少なく、県の人口が同程度(約 200 万人)の栃木県と比べてもかなり少ない。これは前述の退職教員の急激な減少を見越してのものと思われる。また、群馬県以外の栃木・茨城・埼玉の 3 県では、小学校合格者が中学校合格者のおおよそ 2 倍という状況であるのに対し、群馬県の合格者の構成は、他県とは大きく異なり、小学校・中学校合同での採用予定ではあるが、中学校採用試験での合格者が大半である。群馬大学の卒業生の場合でも資料 C5 にも示されているように、群馬県教員採用合格者(小・中・高・特支)のほぼ 9 割(91 名中 77 名)が中学校での合格者となっている。このように、群馬県は周囲の県とは異なる、非常に特異な教員採用の方法を取っているが、実際に配属が必要なのは小学校であることは周囲の県と同様であることは言うまでもない。

平成 30 年度群馬県採用者について資料 C5 をみると、群馬大学の教員採用試験合格者としては小学校合格者がわずか 3 名で中学校合格者が 77 名であるのに対し、採用(配属)先で見ると小学校が 57 名、中学校が 23 名と中学校合格者の内 54 名が小学校教員として配属となっている。その結果、卒業生のうち教員採用試験合格になった者 149 名(群馬県公立 92 名(幼稚園 1 名含む)、県外公立 13 名、私立等及び非正規 44 名)のうち、中学校採用が 41 名となっている。群馬県採用試験合格の群馬大学学生(平成 30 年度では 92 名)が占める中学校採用での比率は 40% 前後という高い比率となっており、県の中学校教員合格者の確保にとって群馬大学が極めて大きな地位を占めていることがわかる。教科についての高い能力を持った中学校試験合格者から相当数程度を小学校に配属させることにより、小学校教育の質・レベルを確保・向上していこうとする群馬県の方針があらわれている。このことは、教員採用試験において、小学校免許と中学校免許の両方を持っている受験生を優先して採用するという県教育委員会の方針にも現れている。したがって、群馬県の方針に即して中学校採用試験の合格かつ小学校配属にあっても十分に教師としての力を発揮できるよう、中学校教科及び指導法のしっかりとした学習指導と小学校科目全科目の履修を併せて行うものとして、小学校 1 種・中学校 1 種の両免許の取得を群馬大学は進めてきた。このような県の方針と群馬大学の教育方針とがかみあっている群馬大学卒業生の高い教員就職率がもたらされており、これが教員志望の高校生からの高い評価、志望意欲につながっていると考えられる。

このような群馬県の教員採用の方法は、栃木県においても取り入れられつつあり、小学校と中学校の間での教員の相互の異動が行われるようになってきている。宇都宮大学教育学部においても行われている小学校 1 種・中学校 1 種両免許の取得は、それ故、教員就職において極めて有力な武器であり、教員採用実績の確実な向上をもたら

すものといえる。

（栃木県・群馬県の教員採用推計、卒業者数（入学定員）の適正規模推計）

栃木・群馬両県の人口動態および定年退職教員の減を基に教員需要を予測し、それを基に適正な共同教育学部卒業生規模を定量的に推計したものが資料 C6 である。これによると、現在の教員採用実績（占有率）を維持していくためには、両大学とも第 5 期中期計画期間には現在の 2/3 ないし 1/2 程度にまで卒業者数を減少せざるを得ないと予想される。資料 C6 に基づいての学部設置時の適正な入学定員規模については、宇都宮大学は現状規模が妥当なものであるが、群馬大学は一割程度の定員減が必要であると考えられる。従って、平成 32（令和 2）年設置を計画する共同教育学部の場合、完成年度の平成 36（令和 6）年並びにその先での教員需要に見合った定員規模を共同教育学部設置時に考慮しておく必要がある。

（2）学生納付金の設定の考え方

学生納付金は、「国立大学等の授業料その他の費用に関する省令（平成 16 年文部科学省令第 16 号）に定める「標準額」と同様であり、授業料年額 535、800 円、入学料 282、000 円である。学生の確保の見通しを考える上で設定する周辺競合校（茨城大学、埼玉大学）と同一の条件である。

（3）学生確保に向けた具体的な取り組み状況

（学部オープンキャンパスへの高校生の参加状況等）

学部の広報活動の重要な柱となっている全学オープンキャンパス（OC）での教育学部ブース及び学部独自の OC への参加状況についてみると、おおむね入学定員を大きく上回る高校生が参加している（資料 D1）。直近の平成 30 年度の宇都宮大学の場合、定員の約 10 倍の 1761 名の参加があり、群馬大学の場合も全学 OC での教育学部ブースには 1640 名、別の日に開催の学部 OC には 593 名の参加を得ている。OC 参加者が入学定員を大きく超えていることは、本共同教育学部に対する高校生の関心が非常に強いものがあり、入学意欲も強いものがあると考えられる。

OC 時のアンケートの回答として、約半数が「入学希望意識がとて強くなった」であり、「少し強くなった」までで考えると約 60～80%となっており、OC により入学希望意識が増進されていることが分かる。また、大学のイメージとして、やはり「国立大学であること」が大きい、「教育のレベルが高いこと」、「施設・設備が整っていること」等が高く評価されている。OC を通して大学の理解・評価につながっており、大学での学修に対する強い期待があることがわかる。OC への参加者は地理的な制約から県内の参加者が大半ではあるが、両大学の教員養成教育が高く評価されていることは、県内の教育学部入学希望者を確保するという観点から、OC が非常に有効に機能しているといえる。

（高校との意見交換等）

高校の進路指導教員との意見交換は、入試に関する説明会の場等を利用して行っている。これまでの参加高校の状況を資料 D2 に示しているが、他の学部等とも連携して積極的な

学部の紹介を行っている。出張模擬授業(出前授業)、大学見学会の状況を資料 D3 に示す。毎年、多くの高校からの見学会を受け入れているが、周辺県の高校からの見学が多い。出張授業については、学部の教員全員の協力を得て、県内高校を中心に受験者の多い高校などで数多くの回数行っている。模擬授業と同時に学部の紹介・広報も行い、志願者増につながっている。

栃木県・群馬県の教育委員会とは、資料 D4 に示すように各種多数の連携事業、共同研究を展開している。これらを通して、県内の小中高校から要請のある課題の発掘、それへの指導・助言活動を行い、現職教員の研修にも反映させている。そこでは、「とちぎの教育未来塾」、「群馬の教師力を高める」と名を打って、シンポジウム、実践交流会などを開催しており、現職教員の指導力アップを図っている。これらを基に、県内高校に対して両大学の教育学部の認知度を高め、各高校の在校生への周知・宣伝に活用している。

(4) 人材需要の動向等社会の要請

新学習指導要領では、新時代に要請される能力を育てるとして、小学校からの英語の教科、情報・プログラミング教育の導入、理科教育の充実など新たな学びの方向性が指摘されており、今後の小中学校教員にとって必須となる課題が提起されている。小学校では平成 32 (令和 2) 年から、中学校では平成 33 (令和 3) 年から、新しい学習指導要領が始まる。新学習指導要領の開始に際して、新たな学びには教員の指導力の向上が不可欠となることから教育公務員特例法の一部改正が行われ、教員に求める資質能力、教員育成指標の策定が各県教育委員会に義務付けられた。そこでは県が求める教員像を規定し、教職課程修了時あるいは教員採用時に身につけている資質能力のほか、採用後のキャリアパスの各段階における種々の指標を示し、これに従った教員の育成を進めることとされている。

栃木県、群馬県が必要としている、教職課程修了時に身につけているべき資質能力については資料 E1 に示しているが、これに応える教員養成教育を着実に遂行していくことが両大学には求められている。教職課程修了時に身につけている資質能力と共同教育学部での達成目標・学位授与方針(ディプロマ・ポリシー)との整合性、それを実現する教育プログラムの提供などは、大学での学習計画等の高校側との意見交換の際の鍵となる事項であり、様々な意見交換の機会を捉えて説明を行っている。

資料 E2 には、とちぎ、群馬両県の教育委員会の教育長、並びに高校長協会会長からの要望書を示している。いずれも、中学校 10 教科の安定した維持が両県の義務教育課程において不可欠のものを指摘している。また、両県共に特別支援学校教員の養成・確保が急務であり、共同教育学部設置により 5 領域全部の免許状取得が可能となることに大きな期待を寄せている。さらには、超スマート社会の到来に対して、SDGs などの現代的諸課題に対応する資質能力の育成に寄与する Forefront 科目の開設、幅広い専門分野にわたる指導、その上で、小学校・中学校両免許の取得を可能とする共同教育課程の設置に対する大きな期待があることがわかる。

資料

目次

A. 入学志願状況等	-----	p.12
A1. 教育学部専攻別志願倍率（H26～30）		
A2. 周辺大学教育学部を含めた入学試験倍率 （宇都宮大、群馬大、茨城大、埼玉大、文教大）		
A3. 県内高校出身者数、割合（H25～30）（志願者、合格者、入学者）		
A4. 周辺大学の入学者の構成（群馬大、宇都宮大、茨城大、埼玉大）		
A5. 栃木県、群馬県内高校生に対する共同教育学部についての意識調査		
B. 年齢別人口、大学等進学率	-----	p.29
B1. 群馬、栃木、埼玉県の前年齢別人口		
B2. 群馬、栃木、埼玉県の大学等進学率		
B3. 大学進学率推移（現役、エリア別：リクルート総研）		
B4. 都道府県別大学進学率（文科省、高等教育に関する基礎データ）		
C. 教員就職状況、教員需要をふまえた入学定員計画	-----	p.37
C1. 県内・近隣大学の中学校教科の免許状況		
C2. 栃木県、群馬県及び全国の公立小中学校の前年齢別教員数		
C3. 教員養成課程の大学別就職状況（H25～30）		
C4. 群馬、茨城、栃木、埼玉県の教員採用試験合格者数（H27～30）		
C5. 栃木県・群馬県教員採用試験における宇都宮大学・群馬大学の 学生の状況（H26～30）		
C6. 栃木・群馬県の教員採用推計、入学定員の適正規模推計		
D. 学生確保に向けた具体的な取り組み	-----	p.45
D1. 学部オープンキャンパスの参加者数		
D2. 高校の進路指導教員との意見交換、入試に関する説明会 の参加状況（H25～30）		
D3. 大学見学会、出張模擬授業の状況（H27～30）		
D4. 県教育委員会との連携事業（H26～30）		
E. 人材需要の動向等社会の要請	-----	p.51
E1. 栃木県・群馬県教員育成指標の概要		
E2. 栃木県・群馬県の教育関係機関（教育長、高校長協会長）からの要望書		

A-1-1 宇都宮大学教育学部入試 志願倍率等 (平成26年度～平成30年度)

選抜年度		平成30年度																																		
選抜区分		推薦入試Ⅰ(A)							推薦入試Ⅰ(B)							前期日程						後期日程														
項目		募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	志願倍率	受験倍率	実質倍率	募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	志願倍率	受験倍率	実質倍率	募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	志願倍率	受験倍率	実質倍率	募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	志願倍率	受験倍率	実質倍率							
課程・専攻・分野名																																				
学校教員養成課程	学校教育・特別支援教育系	学校教育分野	2	5	5	3	2.5	2.5	1.7								22	77	73	26	3.5	3.3	2.8	6	58	35	9	9.7	5.8	3.9						
		特別支援教育分野	2	4	4	2	2.0	2.0	2.0																											
	教科文系	国語教育分野	2	4	4	2	2.0	2.0	2.0								26	77	72	30	3.0	2.8	2.4	7	114	59	9	16.3	8.4	6.6						
		社会教育分野	2	5	5	2	2.5	2.5	2.5																											
		英語教育分野	2	12	12	2	6.0	6.0	6.0																											
	教科理系	数学教育分野	2	4	4	2	2.0	2.0	2.0	20	42	42	20	2.1	2.1	2.1	27	61	58	31	2.3	2.1	1.9	8	52	26	11	6.5	3.3	2.4						
		理科教育分野	2	5	5	2	2.5	2.5	2.5																											
		技術教育分野	2	4	4	2	2.0	2.0	2.0																											
	教科実技系	音楽教育分野	2	4	4	3	2.0	2.0	1.3																											
		美術教育分野	2	6	6	3	3.0	3.0	2.0								30	79	78	30	2.6	2.6	2.6	-	-	-	-	-	-	-						
		保健体育分野	2	6	6	2	3.0	3.0	3.0																											
		家庭教育分野	2	3	3	2	1.5	1.5	1.5																											
合計		24	62	62	27	2.6	2.6	2.3	20	42	42	20	2.1	2.1	2.1	105	294	281	117	2.8	2.7	2.4	21	224	120	29	10.7	5.7	4.1							

選抜年度		平成29年度																																		
選抜区分		推薦入試Ⅰ(A)							推薦入試Ⅰ(B)							前期日程						後期日程														
項目		募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	志願倍率	受験倍率	実質倍率	募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	志願倍率	受験倍率	実質倍率	募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	志願倍率	受験倍率	実質倍率	募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	志願倍率	受験倍率	実質倍率							
課程・専攻・分野名																																				
学校教員養成課程	学校教育・特別支援教育系	学校教育分野	2	5	5	2	2.5	2.5	2.5								22	47	45	26	2.1	2.0	1.7	6	40	18	14	6.7	3.0	1.3						
		特別支援教育分野	2	7	7	2	3.5	3.5	3.5																											
	教科文系	国語教育分野	2	2	2	2	1.0	1.0	1.0								26	72	71	30	2.8	2.7	2.4	7	78	35	30	11.1	5.0	1.2						
		社会教育分野	2	7	7	2	3.5	3.5	3.5																											
		英語教育分野	2	3	3	2	1.5	1.5	1.5																											
	教科理系	数学教育分野	2	9	9	2	4.5	4.5	4.5	20	50	50	21	2.5	2.5	2.4	27	45	45	29	1.7	1.7	1.6	8	48	21	18	6.0	2.6	1.2						
		理科教育分野	2	3	3	2	1.5	1.5	1.5																											
		技術教育分野	2	1	1	1	0.5	0.5	1.0																											
	教科実技系	音楽教育分野	2	4	4	2	2.0	2.0	2.0																											
		美術教育分野	2	4	4	2	2.0	2.0	2.0								30	117	114	31	3.9	3.8	3.7	-	-	-	-	-	-	-						
		保健体育分野	2	10	10	2	5.0	5.0	5.0																											
		家庭教育分野	2	4	4	2	2.0	2.0	2.0																											
合計		24	59	59	23	2.5	2.5	2.6	20	50	50	21	2.5	2.5	2.4	105	281	275	116	2.7	2.6	2.4	21	166	74	62	7.9	3.5	1.2							

選抜年度		平成28年度																																		
選抜区分		推薦入試Ⅰ(A)							推薦入試Ⅰ(B)							前期日程						後期日程														
項目		募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	志願倍率	受験倍率	実質倍率	募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	志願倍率	受験倍率	実質倍率	募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	志願倍率	受験倍率	実質倍率	募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	志願倍率	受験倍率	実質倍率							
課程・専攻・分野名																																				
学校教員養成課程	学校教育・特別支援教育系	学校教育分野	2	13	13	2	6.5	6.5	6.5								22	79	76	25	3.6	3.5	3.0	6	31	15	10	5.2	2.5	1.5						
		特別支援教育分野	2	14	14	2	7.0	7.0	7.0																											
	教科文系	国語教育分野	2	6	6	2	3.0	3.0	3.0								30	73	71	33	2.4	2.4	2.2	9	79	35	17	8.8	3.9	2.1						
		社会教育分野	2	10	10	2	5.0	5.0	5.0																											
		家庭教育部	2	14	14	3	7.0	7.0	4.7																											
	教科理系	英語教育分野	2	8	8	2	4.0	4.0	4.0	20	45	45	22	2.3	2.3	2.0	27	58	58	30	2.1	2.1	1.9	8	42	19	11	5.3	2.4	1.7						
		数学教育分野	2	9	9	2	4.5	4.5	4.5																											
		理科教育分野	2	3	3	2	1.5	1.5	1.5																											
	教科実技系	技術教育分野	2	6	6	2	3.0	3.0	3.0																											
		音楽教育分野	2	11	10	2	5.5	5.0	5.0								24	92	89	25	3.8	3.7	3.6	-	-	-	-	-	-	-						
		美術教育分野	2	6	6	2	3.0	3.0	3.0																											
		保健体育分野	2	13	13	2	6.5	6.5	6.5																											
合計		24	113	112	25	4.7	4.7	4.5	20	45	45	22	2.3	2.3	2.0	103	302	294	113	2.9	2.9	2.6	23	152	69	38	6.6	3.0	1.8							

選抜年度		平成27年度																						
選抜区分		推薦入試Ⅰ						前期日程						後期日程										
項目		募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	志願倍率	受験倍率	実質倍率	募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	志願倍率	受験倍率	実質倍率	募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	志願倍率	受験倍率	実質倍率		
学校教員養成課程	文系	学校教育専攻	2	15	15	2	7.5	7.5	7.5	43	140	138	15	3.3	3.2	2.5	10	101	48	5	10.1	4.8	4.0	
		国語教育専攻	2	10	10	2	5.0	5.0	5.0				15							3				
		社会教育専攻	3	4	4	3	1.3	1.3	1.3				13							2				
		家政教育専攻	3	7	7	3	2.3	2.3	2.3				6							1				
		英語教育専攻	2	10	10	3	5.0	5.0	3.3				6							1				
	理系	数学教育専攻	2	13	13	3	6.5	6.5	4.3	24	55	53	15	2.3	2.2	3.5	7	37	18	4	5.3	2.6	4.5	
		理科教育専攻	4	8	8	4	2.0	2.0	2.0				11							4				
		技術教育専攻	3	9	9	4	3.0	3.0	2.3				3							1				
	実技系	音楽教育専攻	2	10	10	2	5.0	5.0	5.0	21	18	18	7	2.9	2.8	2.7	-	-	-	-	-	-	-	
		美術教育専攻	2	6	6	3	3.0	3.0	2.0				6											-
		保健体育専攻	3	10	10	3	3.3	3.3	3.3				9											-
	特別支援教育コース 特別支援教育専攻		3	10	10	4	3.3	3.3	2.5	11	16	16	11	1.5	1.5	1.5	3	10	2	0	3.3	0.7	-	
	総合人間形成課程		20	44	44	20	2.2	2.2	2.2	30	75	72	39	2.5	2.4	1.8	10	51	30	12	5.1	3.0	2.5	
	合計		51	156	156	56	3.1	3.1	2.8	129	347	338	156	2.7	2.6	2.2	30	199	98	33	6.6	3.3	3.0	

選抜年度		平成26年度																						
選抜区分		推薦入試Ⅰ						前期日程						後期日程										
項目		募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	志願倍率	受験倍率	実質倍率	募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	志願倍率	受験倍率	実質倍率	募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	志願倍率	受験倍率	実質倍率		
学校教員養成課程	文系	学校教育専攻	2	22	22	2	11.0	11.0	11.0	43	121	115	15	2.8	2.7	2.1	10	94	28	3	9.4	2.8	1.6	
		国語教育専攻	2	11	11	3	5.5	5.5	3.7				14							3				
		社会教育専攻	3	9	9	3	3.0	3.0	3.0				12							7				
		家政教育専攻	3	9	9	4	3.0	3.0	2.3				6							1				
		英語教育専攻	2	4	4	1	2.0	2.0	4.0				7							3				
	理系	数学教育専攻	2	11	11	3	5.5	5.5	3.7	24	100	99	15	4.2	4.1	6.6	7	65	31	8	9.3	4.4	3.9	
		理科教育専攻	4	12	12	4	3.0	3.0	3.0				10							3				
		技術教育専攻	3	4	4	4	1.3	1.3	1.0				2							1				
	実技系	音楽教育専攻	2	8	8	2	4.0	4.0	4.0	21	9	9	7	3.2	3.2	2.8	-	-	-	-	-	-	-	
		美術教育専攻	2	1	1	1	0.5	0.5	1.0				8											-
		保健体育専攻	3	13	13	4	4.3	4.3	3.3				9											-
	特別支援教育コース 特別支援教育専攻		3	12	12	4	4.0	4.0	3.0	11	30	29	12	2.7	2.6	2.4	3	24	7	3	8.0	2.3	2.3	
	総合人間形成課程		20	44	44	22	2.2	2.2	2.0	30	78	74	40	2.6	2.5	1.9	10	51	18	12	5.1	1.8	1.5	
	合計		51	160	160	57	3.1	3.1	2.8	129	396	384	157	3.1	3.0	2.4	30	234	84	44	7.8	2.8	1.9	

群馬大学教育学部入試 専攻別志願倍率等(平成26年度～平成30年度)

※合格者数には追加合格者を含む

A-1-2

専攻	日程	平成26年度						平成27年度						平成28年度						平成29年度						平成30年度						日程	専攻					
		募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	志願倍率	受験倍率	実質倍率	募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	志願倍率	受験倍率	実質倍率	募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	志願倍率	受験倍率	実質倍率	募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	志願倍率	受験倍率	実質倍率	募集人員	志願者数			受験者数	合格者数	志願倍率	受験倍率	実質倍率
国語	推薦	6	21	21	6	3.5	3.5	3.5	6	27	27	6	4.5	4.5	4.5	6	19	19	6	3.2	3.2	3.2	6	18	18	6	3.0	3.0	3.0	6	13	13	6	2.2	2.2	2.2	推薦	国語
	前期	15	32	32	16	2.1	2.1	2.0	15	48	48	16	3.2	3.2	3.0	15	39	39	16	2.6	2.6	2.4	15	28	27	16	1.9	1.8	1.7	15	34	33	16	2.3	2.2	2.1	前期	
	後期	3	36	15	4	12.0	5.0	3.8	3	40	23	4	13.3	7.7	5.8	3	33	11	4	11.0	3.7	2.8	3	28	12	4	9.3	4.0	3.0	3	23	8	6	7.7	2.7	1.3	後期	
	合計	24	89	68	26	3.7	2.8	2.6	24	115	98	26	4.8	4.1	3.8	24	91	69	26	3.8	2.9	2.7	24	74	57	26	3.1	2.4	2.2	24	70	54	28	2.9	2.3	1.9	合計	
社会	推薦	5	20	20	5	4.0	4.0	4.0	5	19	19	5	3.8	3.8	3.8	5	22	22	5	4.4	4.4	4.4	5	13	13	5	2.6	2.6	2.6	5	12	12	5	2.4	2.4	2.4	推薦	社会
	前期	17	47	46	18	2.8	2.7	2.6	17	47	47	18	2.8	2.8	2.6	17	50	50	18	2.9	2.9	2.8	17	39	38	18	2.3	2.2	2.1	17	45	43	18	2.6	2.5	2.4	前期	
	後期	4	58	27	5	14.5	6.8	5.4	4	44	17	6	11.0	4.3	2.8	4	48	23	5	12.0	5.8	4.6	4	45	20	5	11.3	5.0	4.0	4	38	16	5	9.5	4.0	3.2	後期	
	合計	26	125	93	28	4.8	3.6	3.3	26	110	83	29	4.2	3.2	2.9	26	120	95	28	4.6	3.7	3.4	26	97	71	28	3.7	2.7	2.5	26	95	71	28	3.7	2.7	2.5	合計	
英語	推薦																																		推薦	英語		
	前期	12	26	25	13	2.2	2.1	1.9	12	38	37	14	3.2	3.1	2.6	12	30	30	13	2.5	2.5	2.3	12	28	27	13	2.3	2.3	2.1	12	24	24	13	2.0	2.0		1.8	前期
	後期	3	37	14	4	12.3	4.7	3.5	3	48	14	5	16.0	4.7	2.8	3	32	12	5	10.7	4.0	2.4	3	40	17	5	13.3	5.7	3.4	3	35	5	4	11.7	1.7		1.3	後期
	合計	15	63	39	17	4.2	2.6	2.3	15	86	51	19	5.7	3.4	2.7	15	62	42	18	4.1	2.8	2.3	15	68	44	18	4.5	2.9	2.4	15	59	29	17	3.9	1.9		1.7	合計
数学	推薦	5	20	20	5	4.0	4.0	4.0	5	28	28	5	5.6	5.6	5.6	5	17	17	5	3.4	3.4	3.4	5	11	11	5	2.2	2.2	2.2	5	13	13	5	2.6	2.6	2.6	推薦	数学
	前期	18	58	58	19	3.2	3.2	3.1	18	52	49	19	2.9	2.7	2.6	18	43	43	20	2.4	2.4	2.2	18	58	57	21	3.2	3.2	2.7	18	44	43	20	2.4	2.4	2.2	前期	
	後期	2	34	14	2	17.0	7.0	7.0	2	23	15	4	11.5	7.5	3.8	2	31	12	3	15.5	6.0	4.0	2	37	19	3	18.5	9.5	6.3	2	31	13	3	15.5	6.5	4.3	後期	
	合計	25	112	92	26	4.5	3.7	3.5	25	103	92	28	4.1	3.7	3.3	25	91	72	28	3.6	2.9	2.6	25	106	87	29	4.2	3.5	3.0	25	88	69	28	3.5	2.8	2.5	合計	
理科	推薦	4	11	11	4	2.8	2.8	2.8	4	14	14	4	3.5	3.5	3.5	4	13	13	4	3.3	3.3	3.3	4	8	8	4	2.0	2.0	2.0	4	11	11	4	2.8	2.8	2.8	推薦	理科
	前期	17	33	33	19	1.9	1.9	1.7	17	38	36	19	2.2	2.1	1.9	17	29	28	19	1.7	1.6	1.5	17	27	26	19	1.6	1.5	1.4	17	37	37	19	2.2	2.2	1.9	前期	
	後期	5	30	9	5	6.0	1.8	1.8	5	46	22	5	9.2	4.4	4.4	5	24	8	5	4.8	1.6	1.6	5	36	9	5	7.2	1.8	1.8	5	43	15	6	8.6	3.0	2.5	後期	
	合計	26	74	53	28	2.8	2.0	1.9	26	98	72	28	3.8	2.8	2.6	26	66	49	28	2.5	1.9	1.8	26	71	43	28	2.7	1.7	1.5	26	91	63	29	3.5	2.4	2.2	合計	
技術	推薦																																	推薦	技術			
	前期	7	24	24	8	3.4	3.4	3.0	7	41	40	8	5.9	5.7	5.0	7	12	12	8	1.7	1.7	1.5	7	18	18	8	2.6	2.6	2.3	7	26	26	8	3.7		3.7	3.3	前期
	後期	4	27	27	4	6.8	6.8	6.8	4	39	23	4	9.8	5.8	5.8	4	19	10	4	4.8	2.5	2.5	4	21	16	4	5.3	4.0	4.0	4	21	13	4	5.3		3.3	3.3	後期
	合計	11	51	51	12	4.6	4.6	4.3	11	80	63	12	7.3	5.7	5.3	11	31	22	12	2.8	2.0	1.8	11	39	34	12	3.5	3.1	2.8	11	47	39	12	4.3		3.5	3.3	合計
音楽	推薦	2	18	18	2	9.0	9.0	9.0	2	22	22	2	11.0	11.0	11.0	2	12	12	2	6.0	6.0	6.0	2	13	13	2	6.5	6.5	6.5	2	15	15	2	7.5	7.5	7.5	推薦	音楽
	前期	9	24	23	10	2.7	2.6	2.3	9	29	29	10	3.2	3.2	2.9	9	26	25	10	2.9	2.8	2.5	9	19	18	10	2.1	2.0	1.8	9	30	30	10	3.3	3.3	3.0	前期	
	後期	4	40	16	4	10.0	4.0	4.0	4	42	25	4	10.5	6.3	6.3	4	40	16	4	10.0	4.0	4.0	4	26	9	4	6.5	2.3	2.3	4	46	24	4	11.5	6.0	6.0	後期	
	合計	15	82	57	16	5.5	3.8	3.6	15	93	76	16	6.2	5.1	4.8	15	78	53	16	5.2	3.5	3.3	15	58	40	16	3.9	2.7	2.5	15	91	69	16	6.1	4.6	4.3	合計	

入学試験倍率（実倍率）

宇都宮大	2018	2017	2016	2015	募集定員
入試全体	2.6	2.1	2.6	2.1	170
一般入試	2.7	2.0	2.4	2.0	126
推薦入試	2.2	2.5	3.3	2.5	44

群馬大	2018	2017	2016	2015	募集定員
入試全体	2.2	2.6	2.8	3.8	220
一般入試	2.2	2.6	2.7	3.7	187
推薦入試	2.8	3.0	3.4	4.4	33

埼玉大	2018	2017	2016	2015	募集定員
入試全体	2.8	2.7	2.7	3.2	380
一般入試	2.7	2.7	2.7	3.2	283
推薦入試	3.2	2.8	2.7	3.1	97

茨城大	2018	2017	2016	2015	募集定員
入試全体	3.3	3.0	3.4	3.8	275
一般入試	3.1	3.0	3.3	3.9	222
推薦入試	4.3	3.4	3.9	3.7	53

文教大	2018	2017	2016	2015	募集定員
入試全体	6.3	6.8	6.9	5.9	350
一般入試	6.7	7.3	7.4	6.4	233
推薦入試	2.5	2.5	2.6	2.3	117

「大学受験パスナビ」より

A-3-1 最近5カ年における県内高校等出身者の割合(宇都宮大学)

年度	教育学部								
	志願者			合格者			入学者		
	% 県内	% 県外他	計	% 県内	% 県外他	計	% 県内	% 県外他	計
26	48.87% 389	51.13% 407	796	52.90% 137	47.10% 122	259	57.40% 128	42.60% 95	223
27	58.33% 413	41.67% 295	708	62.86% 154	37.14% 91	245	65.12% 140	34.88% 75	215
28	53.33% 328	46.67% 287	615	58.79% 117	41.21% 82	199	63.58% 110	36.42% 63	173
29	49.73% 279	50.27% 282	561	54.26% 121	45.74% 102	223	57.80% 100	42.20% 73	173
30	47.54% 299	52.46% 330	629	51.03% 99	48.97% 95	194	55.56% 95	44.44% 76	171

A-3-2 最近6年における県内高校等出身者の割合（群馬大学）

年度	教育学部								
	志願者			合格者			入学者		
	% 県内	% 県外他	計	% 県内	% 県外他	計	% 県内	% 県外他	計
25	69.1% 627	30.9% 281	908	76.3% 183	23.8% 57	240	76.7% 178	23.3% 54	232
26	64.9% 616	35.1% 333	949	70.7% 171	29.3% 71	242	72.0% 162	28.0% 63	225
27	57.7% 726	42.3% 532	1,258	75.9% 186	24.1% 59	245	78.2% 179	21.8% 50	229
28	62.8% 598	37.2% 354	952	67.2% 164	32.8% 80	244	68.0% 157	32.0% 74	231
29	61.8% 577	38.2% 356	933	70.0% 170	30.0% 73	243	72.9% 167	27.1% 62	229
30	63.9% 530	36.1% 300	830	72.1% 178	27.9% 69	247	73.4% 174	26.6% 63	237

周辺大学を含めた教育学部の入学者の構成（2016～2018）

（大学ポートレートより）

 県内入学率

宇都宮大学 教育学部
入学者の構成（出身高校所在地別）

2016年度		2017年度		2018年度	
都道府県	学生数	都道府県	学生数	都道府県	学生数
栃木県	110人	栃木県	100人	栃木県	95人
埼玉県	13人	福島県	13人	福島県	15人
福島県	9人	茨城県	9人	茨城県	10人
茨城県	8人	群馬県	9人	群馬県	6人
群馬県	4人	埼玉県	9人	埼玉県	10人
173人		173人		171人	
(2018年5月1日現在)		57.8%		55.6%	

群馬大学教育学部
入学者の構成（出身高校所在地別）

2016年度		2017年度		2018年度	
都道府県	学生数	都道府県	学生数	都道府県	学生数
群馬県	157人	群馬県	167人	群馬県	174人
埼玉県	23人	埼玉県	25人	埼玉県	19人
栃木県	14人	栃木県	10人	栃木県	14人
長野県	5人	長野県	7人	神奈川県	4人
福島県	3人	東京都	4人	長野県	4人
総数 231人		229人		238人	
(2018年5月1日現在)		72.9%		73.1%	

埼玉大学 教育学部
入学者の構成（出身高校所在地別）

2016年度		2017年度		2018年度	
都道府県	学生数	都道府県	学生数	都道府県	学生数
埼玉県	155人	埼玉県	132人	埼玉県	150人
東京都	51人	東京都	63人	東京都	52人
福島県	26人	福島県	22人	福島県	17人
千葉県	26人	栃木県	18人	長野県	17人
栃木県	24人	茨城県	16人	栃木県	15人
長野県	23人	神奈川県	16人	新潟県	15人
群馬県	20人	長野県	16人	千葉県	13人
総数 449人		439人		389人	
(2018年5月1日現在)		30.1%		38.6%	

茨城大学 教育学部
入学者の構成（出身高校所在地別）

2016年度		2017年度		2018年度	
都道府県	学生数	都道府県	学生数	都道府県	学生数
茨城県	174人	茨城県	195人	茨城県	178人
千葉県	14人	千葉県	20人	千葉県	24人
福島県	12人	福島県	14人	福島県	17人
栃木県	12人	栃木県	8人	東京都	13人
岩手県	7人	静岡県	8人	栃木県	10人
東京都	6人	秋田県	5人	群馬県	6人
群馬県	4人	群馬県	4人	静岡県	6人
総数 267人		284人		287人	
		68.7%		62.0%	

群馬県	11人	群馬県	5人
-----	-----	-----	----

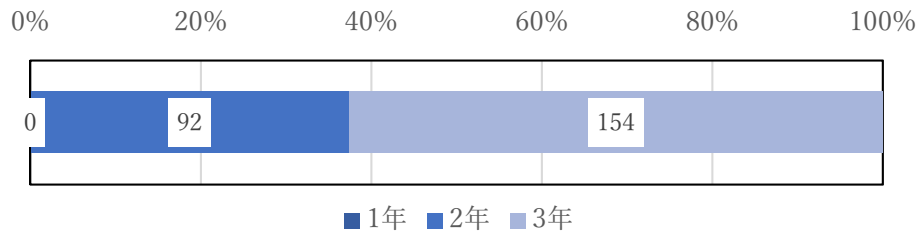
宇都宮大学共同教育学部設置構想についてのアンケート 高校生回答まとめ

<調査概要>

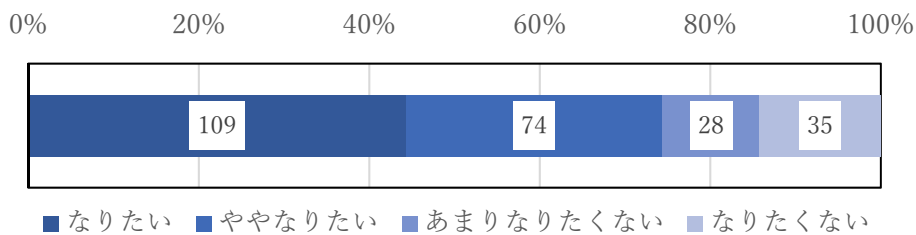
平成 31 年 1 月から 3 月にかけて、宇都宮大学教育学部への出願者の多い県内の高校 8 校に赴き、共同教育学部の説明を行い、高校生へのアンケート調査を依頼した。平成 31 年 4 月初旬に、共同教育学部のリーフレットとともにアンケート用紙を送付し、調査を実施した。回答は 246 名から得られた。内訳は以下のとおり（カッコ内は過去 6 年間の出願者合計と出願者数順位）。

栃木県立宇都宮中央女子高等学校	25 名	(153 名、第 1 位)
栃木県立栃木女子高等学校	40 名	(126 名、第 2 位)
栃木県立宇都宮北高等学校	23 名	(124 名、第 3 位)
栃木県立鹿沼高等学校	30 名	(112 名、第 5 位)
栃木県立大田原女子高等学校	37 名	(103 名、第 6 位)
栃木県立石橋高等学校	34 名	(101 名、第 7 位)
栃木県立大田原高等学校	26 名	(92 名、第 9 位)
栃木県立佐野高等学校	31 名	(30 名、第 22 位)

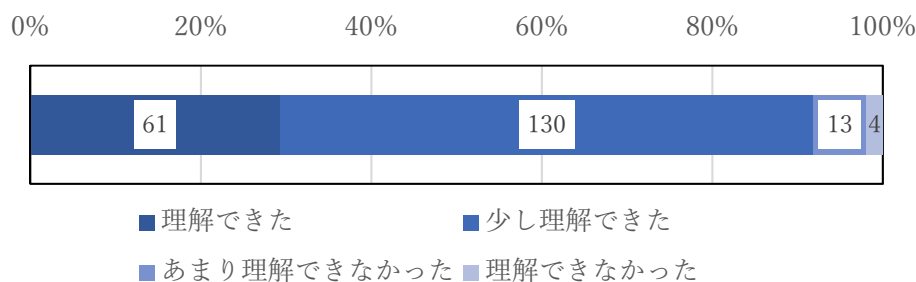
(1) あなたの学年を教えてください。



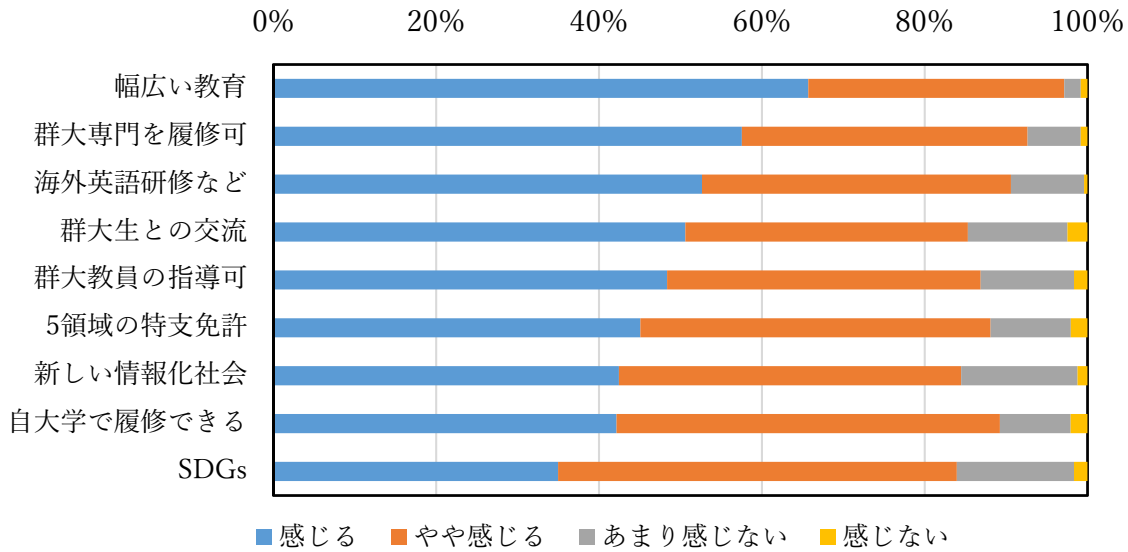
(2) あなたは将来学校の先生になりたいと思っていますか。



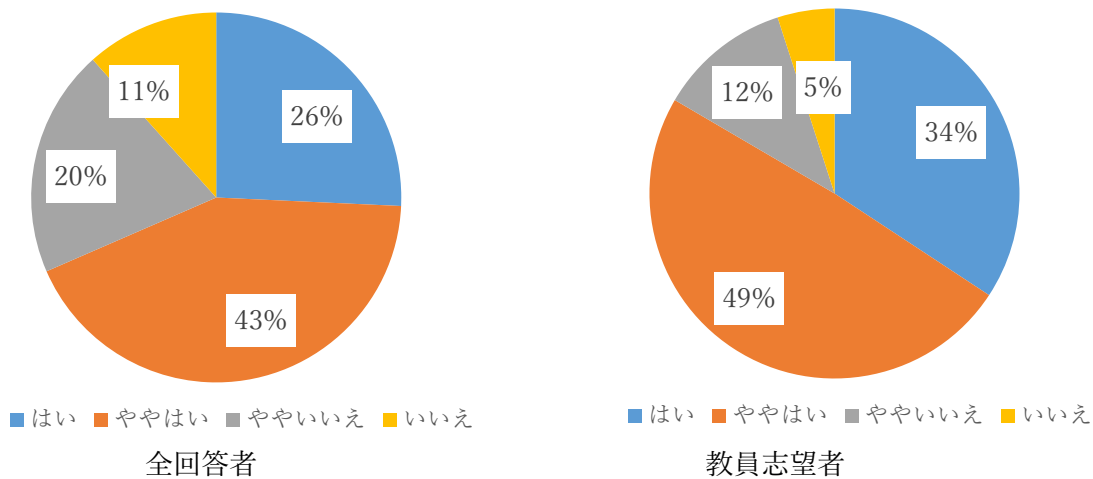
(3) リーフレットを読んで、共同教育学部を作る意義やメリットは理解できましたか。



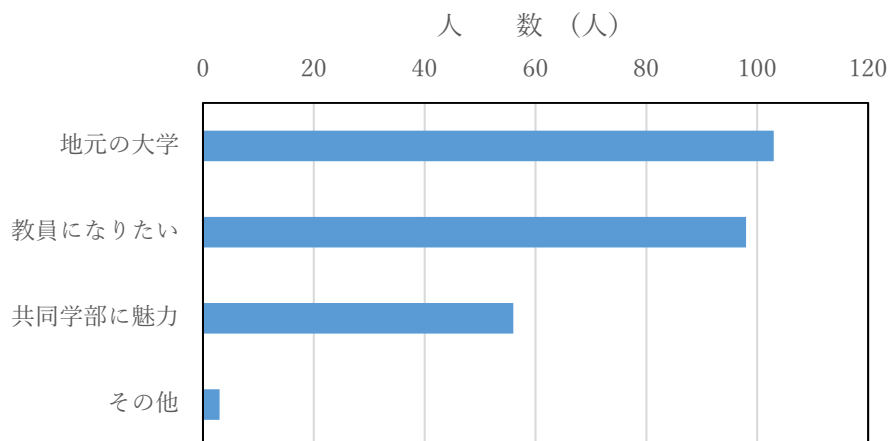
(4) 共同教育学部を作ることによって期待される以下の特徴に魅力を感じますか。



(5) 総合的に見て宇都宮大学共同教育学部を受験したいと思いませんか。



(6) 受験したいと思った理由



(7) 共同教育学部構想に対する意見・感想（自由記述、抜粋）

- ・宇都宮大学と群馬大学が連携することでより充実したカリキュラムが組まれることはとても良いことだと思う。
- ・スタッフが充実することがとても良いと思い、より大学に興味を持った。
- ・他の大学の先生の授業をうけることができ良いと思う。
- ・教員を目指している人にはとても魅力的だと思いました。今後もより良い教育学部を作り上げるために頑張ってください。
- ・双方向遠隔メディアシステムが現代的で面白いと思いました。2つの大学の幅広い教育が受けられるというメリットがとても興味深いです。
- ・普通の教育学部と何が違うのかよく分からない。
- ・群馬大学の教員の授業を受けることもでき、結果的に教員養成の質が上がると思うが、メディアを使った講義には不安が残る。

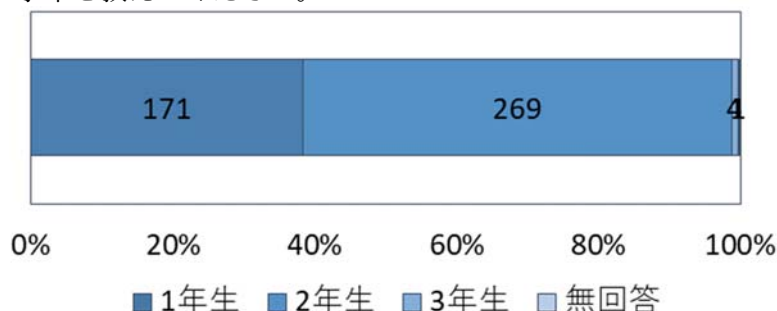
群馬大学共同教育学部設置構想について意識調査（高校生回答まとめ）

<調査概要>

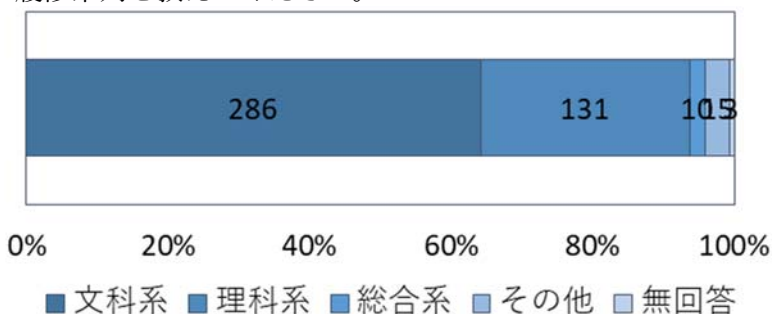
平成 31 年 2 月から 3 月にかけて、県内および近県の高等学校に赴き、共同教育学部に関する説明を行った後、アンケートを実施した。以下の 445 名から回答を得た。なお、(・・・) は平成 30 年度群馬大学教育学部の志願者数である。また、以下のグラフで総数が 445 にならないグラフがあるのは、2 項目に重ねて回答した生徒が 2 名いるためである。

2/27	群馬県立沼田高校	15 名	(6 名)
2/27	群馬県立渋川女子高校	31 名	(20 名)
2/28	群馬県立渋川高校	46 名	(9 名)
3/14	埼玉県本庄東高校	23 名	(15 名)
3/15	高崎経済大学附属高校	65 名	(22 名)
3/18	群馬県立前橋東高校	48 名	(12 名)
3/18	群馬県立高崎女子高校	51 名	(42 名)
3/19	群馬県立前橋女子高校	66 名	(55 名)
3/19	群馬県立太田女子高校	52 名	(21 名)
3/20	群馬県立高崎北高校	29 名	(27 名)
3/26	伊勢崎市立四ツ葉中等教育学校	19 名	(17 名)

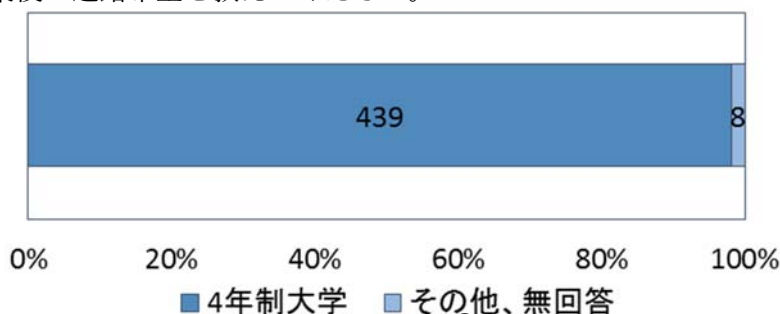
(1) あなたの学年を教えてください。



(2) あなたの履修系列を教えてください。



(3) 高校卒業後の進路希望を教えてください。



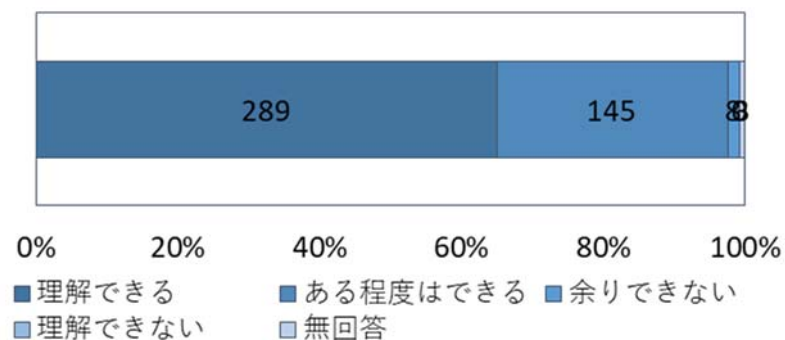
(4) あなたは将来学校の先生になりたいと思っていますか。



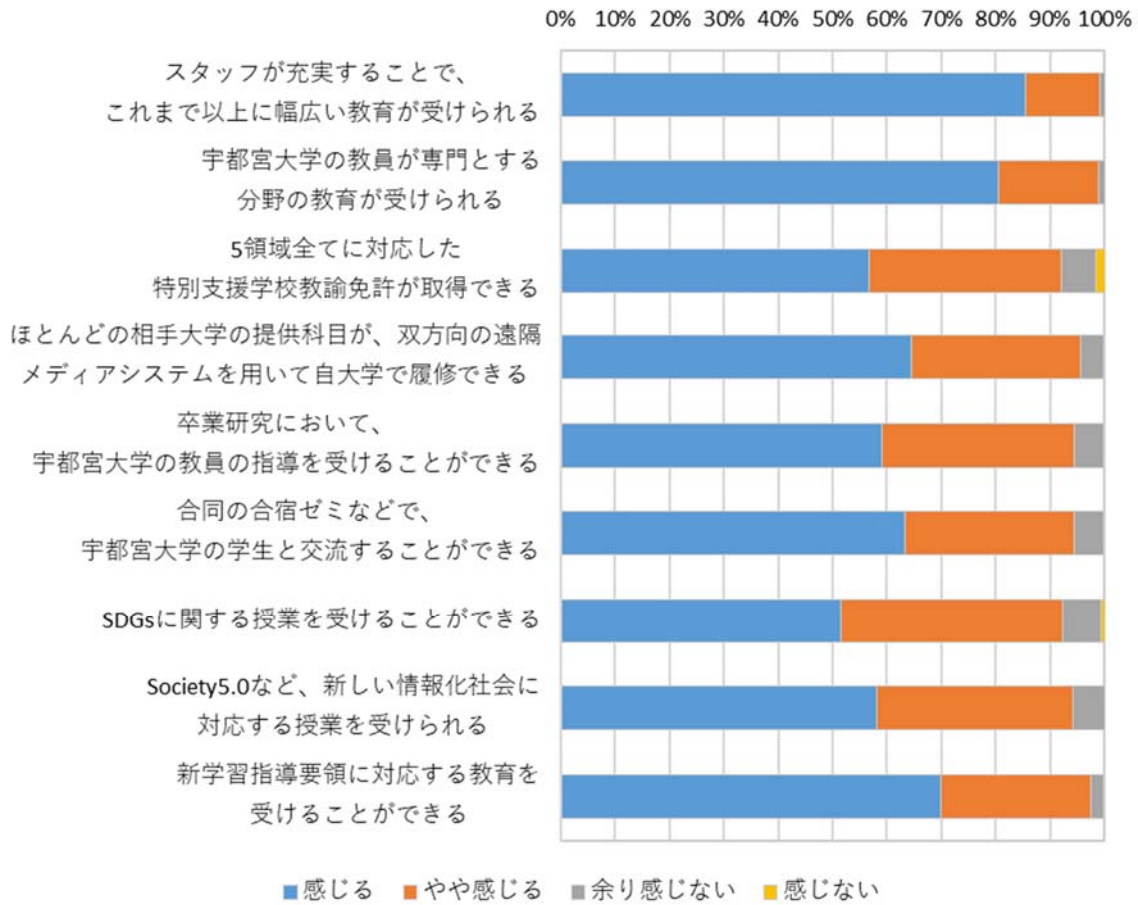
(5) あなたは群馬大学教育学部に入学したいと思いますか。



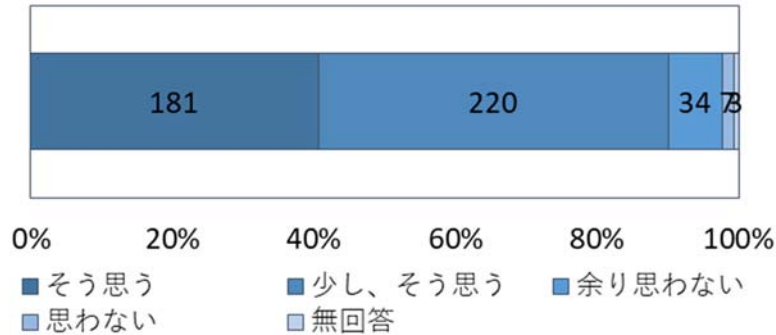
(6) 共同教育学部を作る意義について、どうお考えでしょうか？



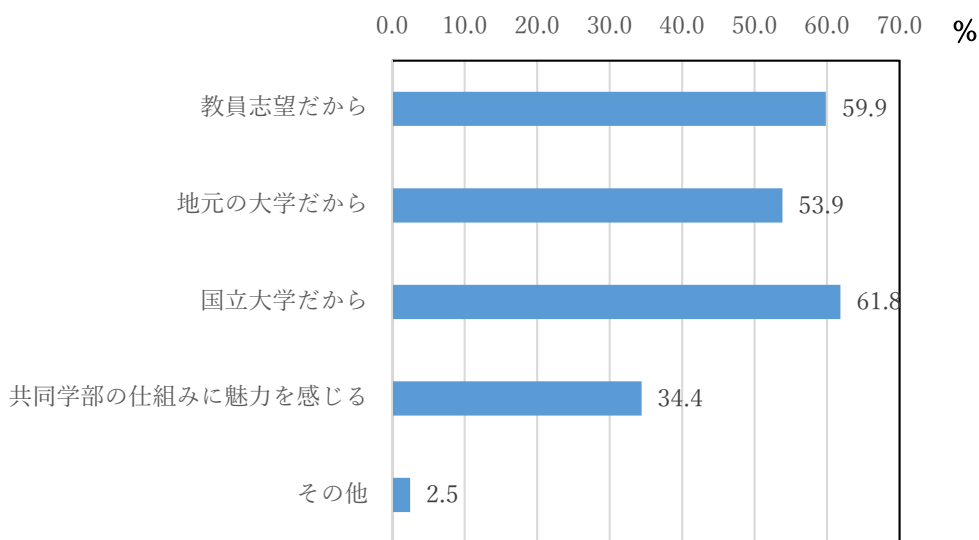
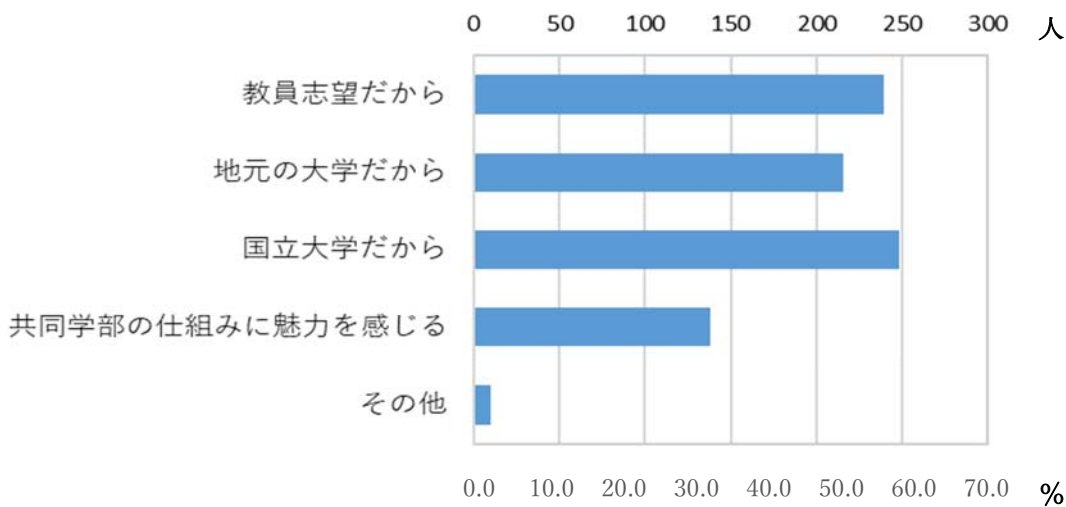
(7) 共同教育学部を作ることにより期待される以下の特徴に魅力を感じられますか？



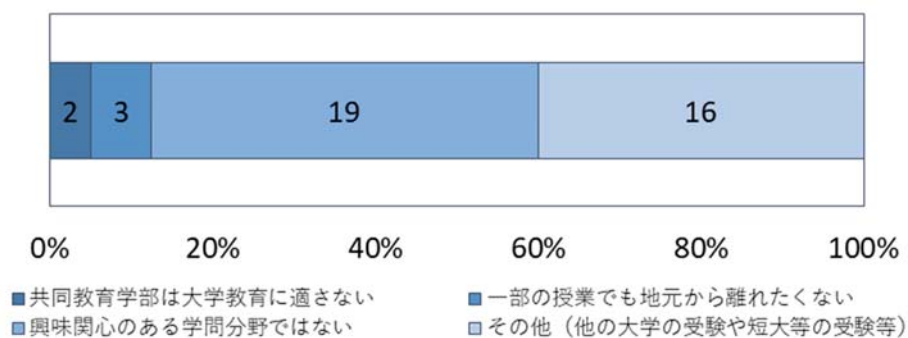
(8) 総合的に見て、群馬大学共同教育学部を受験したいと思いませんか。



(9)(8)の問いで、「そう思う」「少し、そう思う」と答えた方にお聞きします。受験してみたいと思う理由をお知らせください(複数回答可)。



(10)(8)の問いで、「余り思わない」「思わない」と答えた方にお聞きします。受験してみたくない、と思った理由をお知らせください。



<共同教育学部構想に対する感想（自由記述）>

- ・宇都宮大学の先生が専門とすることを学びやすくするのはいいと思いました。また、学生同士の交流もあるのでいいなと思いました。
- ・最初は映像授業的なものだと思い否定的でしたが、live型のようなものと知り、いろいろな先生との触れ合いが増えてとてもいいなと思いました。
- ・お互いの得意とする専攻の授業が受けられるのはとても魅力的だと思いました。
- ・私は音楽専攻を志望していますが、宇大の学生と交流したり、一緒に演奏したりするのは楽しいと思います。
- ・教員の能力向上を目指すことで、その次の年代の教育の充実を図るという、3世代（？）間で関わることができる構想ですごいなと思いました。
- ・当初は驚いたが、少子化の影響を受けてしまうのは仕方がない。より多くの人と触れ合えるのは魅力だと思うし、このような少子化対策の先駆けとなるのは素晴らしいと思う。
- ・5領域の勉強を地元でできる点にとっても魅力を感じました。
- ・共同学部が変わることで群大ならではの実習がなくなってしまうのではと思ったが、それはないことで安心した。もう少し、しっかりと自分でも調べて受験したい。
- ・地元の学校に就職して教師になりたいと考えているため、地元の大学の教育学部でより高度な教育を受けられるのは嬉しいし、意欲も湧きます。

群馬県

県、男女、年齢(各歳・5歳階級)別人口

平成30年10月1日現在

年齢	総数	男	女
総数	1,949,756	963,308	986,448
0～4	70,156	35,978	34,178
0	13,211	6,816	6,395
1	13,958	7,164	6,794
2	14,356	7,412	6,944
3	14,310	7,210	7,100
4	14,321	7,376	6,945
5～9	78,953	40,352	38,601
5	14,929	7,605	7,324
6	15,023	7,570	7,453
7	16,129	8,223	7,906
8	16,007	8,261	7,746
9	16,865	8,693	8,172
10～14	87,180	44,762	42,418
10	17,074	8,899	8,175
11	17,207	8,726	8,481
12	17,171	8,729	8,442
13	17,496	9,062	8,434
14	18,232	9,346	8,886
15～19	96,859	49,900	46,959
15	18,544	9,571	8,973
16	19,218	9,802	9,416
17	19,290	9,785	9,505
18	19,904	10,305	9,599
19	19,903	10,437	9,466
20～24	89,013	46,935	42,078
20	20,379	10,516	9,863
21	19,368	10,251	9,117
22	16,971	8,924	8,047
23	16,158	8,660	7,498
24	16,137	8,584	7,553
25～29	84,756	44,960	39,796
25	16,065	8,439	7,626
26	16,717	8,847	7,870
27	16,796	8,933	7,863
28	17,276	9,273	8,003
29	17,902	9,468	8,434

栃木県

栃木県 年齢別(各歳)・性別人口

平成30(2018)年10月1日現在

年齢	総数	男	女
総数	1,952,926	973,794	979,132
0～4	73,202	37,739	35,463
0	13,866	7,218	6,648
1	14,555	7,513	7,042
2	15,158	7,816	7,342
3	14,808	7,656	7,152
4	14,815	7,536	7,279
5～9	80,358	41,214	39,144
5	15,540	7,948	7,592
6	15,571	7,977	7,594
7	16,147	8,289	7,858
8	16,334	8,448	7,886
9	16,766	8,552	8,214
10～14	86,781	44,625	42,156
10	17,253	9,012	8,241
11	16,909	8,653	8,256
12	17,271	8,805	8,466
13	17,430	8,969	8,461
14	17,918	9,186	8,732
15～19	92,977	47,635	45,342
15	18,091	9,260	8,831
16	18,745	9,528	9,217
17	18,956	9,594	9,362
18	18,513	9,628	8,885
19	18,672	9,625	9,047
20～24	85,216	45,164	40,052
20	18,894	9,839	9,055
21	17,946	9,269	8,677
22	16,294	8,600	7,694
23	16,025	8,751	7,274
24	16,057	8,705	7,352
25～29	90,136	48,434	41,702
25	16,670	9,059	7,611
26	17,510	9,401	8,109
27	17,971	9,679	8,292
28	18,845	10,151	8,694
29	19,140	10,144	8,996

埼玉県

県、男女、年齢(各歳・5歳階級)別人口

平成30年10月1日現在

年齢	総数	男	女
総数	7,343,733	3,679,187	3,664,546
0～4	293,813	150,553	143,260
0	55,199	28,458	26,741
1	58,795	30,101	28,694
2	58,851	30,168	28,683
3	60,545	30,972	29,573
4	60,423	30,854	29,569
5～9	313,784	161,056	152,728
5	61,111	31,424	29,687
6	62,438	32,275	30,163
7	62,709	32,151	30,558
8	63,553	32,465	31,088
9	63,973	32,741	31,232
10～14	323,095	165,793	157,302
10	64,078	32,984	31,094
11	62,401	31,941	30,460
12	64,541	33,024	31,517
13	65,161	33,500	31,661
14	66,914	34,344	32,570
15～19	345,850	177,201	168,649
15	67,400	34,687	32,713
16	68,421	35,110	33,311
17	67,628	34,657	32,971
18	69,723	35,610	34,113
19	72,678	37,137	35,541
20～24	379,717	195,365	184,352
20	74,624	38,439	36,185
21	74,715	38,489	36,226
22	78,153	40,141	38,012
23	75,986	38,958	37,028
24	76,239	39,338	36,901
25～29	391,062	202,933	188,129
25	77,173	39,793	37,380
26	75,757	39,378	36,379
27	76,969	39,849	37,120
28	80,390	41,807	38,583
29	80,773	42,106	38,667

資料: 県統計課「埼玉県町(丁)字別人口調査結果報告」(各年1月1日現在)

大学等進学率

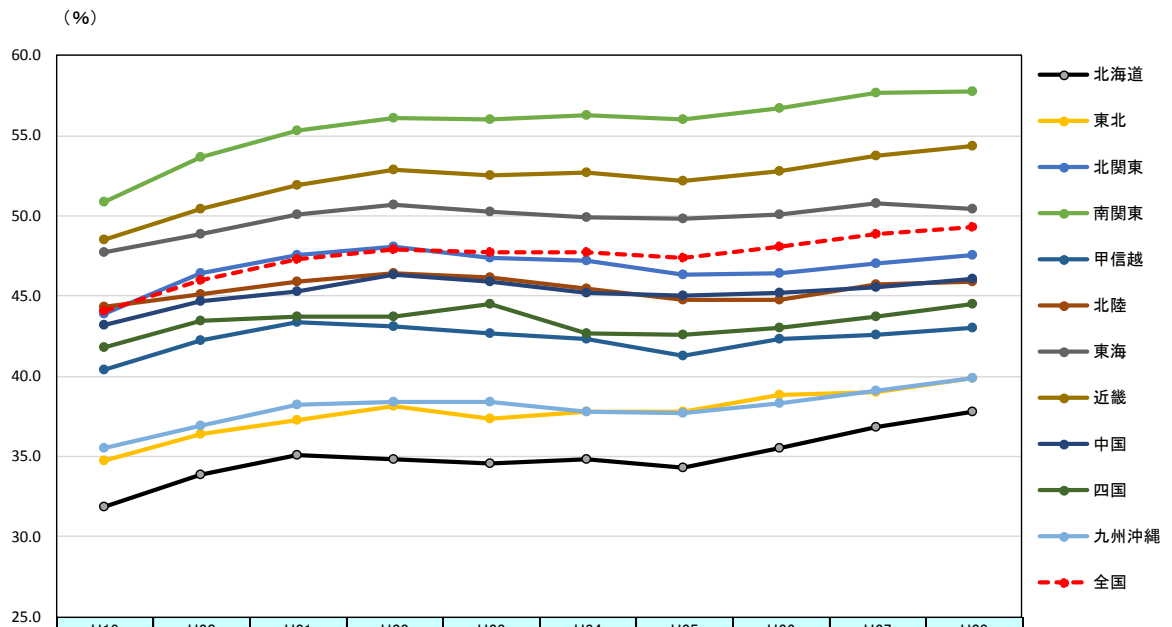
(大学、短期大学、大学・短期大学の通信教育部等)

年度 (平成)	群馬県		栃木県		埼玉県		全国平均
	卒業生 総数	大学等 進学率	卒業生 総数	大学等 進学率	卒業生 総数	大学等 進学率	大学等 進学率
25	17,653	51.2	18,269	52.3	57,520	56.5	53.2
26	16,877	51.8	17,391	50.8	55,057	56.7	53.8
27	17,441	52.1	17,491	52.0	57,093	57.2	54.5
28	17,065	52.6	17,554	52.1	57,150	56.9	54.7
29	17,056	52.2	17,493	51.8	57,262	57.6	54.7
30	17,071	51.9	17,139	52.5	56,970	57.2	54.7

各県の学校基本調査データより

■ 2007年44.1%→2016年49.3%(5.2ポイント上昇)

- ・ 全国で2007年44.1%→2016年49.3%と、10年間で5.2ポイント上昇。
2007～2009年の3年間は上昇率が高く3.2ポイント上昇(44.1%→47.3%)。
2009～2013年の5年間は横ばいのトレンド(47.3%→47.4%)。
2013～2016年にかけて1.9ポイントの微増(47.4%→49.3%)。
 - ・ 上昇率が高いのは、1位北海道(118.5)、2位東北(115.0)、3位南関東(113.6)。※
 - ・ 上昇率が低いのは、1位北陸(103.6)、2位東海(105.7)、3位甲信越(106.4)。※
 - ・ 進学率が高いのは、1位南関東(2016年57.8%)、2位近畿(54.4%)、3位東海(50.4%)。
- 注) ※の()内の数値は、2007年を100としたときの2016年の指数



		H19 '07年	H20 '08年	H21 '09年	H22 '10年	H23 '11年	H24 '12年	H25 '13年	H26 '14年	H27 '15年	H28 '16年
全国	進学率	44.1	46.0	47.3	47.9	47.7	47.7	47.4	48.1	48.9	49.3
	割合	100.0	104.3	107.3	108.6	108.2	108.2	107.5	109.1	110.9	111.8
北海道	進学率	31.9	33.9	35.1	34.8	34.6	34.8	34.3	35.5	36.8	37.8
	割合	100.0	106.3	110.0	109.1	108.5	109.1	107.5	111.3	115.4	118.5
東北	進学率	34.7	36.4	37.3	38.1	37.4	37.8	37.8	38.8	39.0	39.9
	割合	100.0	104.9	107.5	109.8	107.8	108.9	108.9	111.8	112.4	115.0
北関東	進学率	43.9	46.4	47.6	48.1	47.4	47.2	46.3	46.4	47.0	47.6
	割合	100.0	105.7	108.4	109.6	108.0	107.5	105.5	105.7	107.1	108.4
南関東	進学率	50.9	53.7	55.3	56.1	56.0	56.3	56.0	56.7	57.7	57.8
	割合	100.0	105.5	108.6	110.2	110.0	110.6	110.0	111.4	113.4	113.6
甲信越	進学率	40.4	42.2	43.4	43.1	42.7	42.3	41.3	42.3	42.6	43.0
	割合	100.0	104.5	107.4	106.7	105.7	104.7	102.2	104.7	105.4	106.4
北陸	進学率	44.3	45.1	45.9	46.4	46.2	45.5	44.8	44.8	45.7	45.9
	割合	100.0	101.8	103.6	104.7	104.3	102.7	101.1	101.1	103.2	103.6
東海	進学率	47.7	48.9	50.1	50.7	50.3	49.9	49.8	50.1	50.8	50.4
	割合	100.0	102.5	105.0	106.3	105.5	104.6	104.4	105.0	106.5	105.7
近畿	進学率	48.5	50.4	51.9	52.9	52.5	52.7	52.2	52.8	53.8	54.4
	割合	100.0	103.9	107.0	109.1	108.2	108.7	107.6	108.9	110.9	112.2
中国	進学率	43.2	44.7	45.3	46.3	45.9	45.2	45.0	45.2	45.6	46.1
	割合	100.0	103.5	104.9	107.2	106.3	104.6	104.2	104.6	105.6	106.7
四国	進学率	41.8	43.5	43.7	43.7	44.5	42.7	42.6	43.0	43.7	44.5
	割合	100.0	104.1	104.5	104.5	106.5	102.2	101.9	102.9	104.5	106.5
九州沖縄	進学率	35.5	36.9	38.2	38.4	38.4	37.8	37.7	38.3	39.1	39.9
	割合	100.0	103.9	107.6	108.2	108.2	106.5	106.2	107.9	110.1	112.4

(特に、埼玉県、神奈川県、山梨県については
 入学定員充足率【H45】の数値が実際よりも高く
 なっている可能性があるため、精査が必要。)

※数値精査中

高等教育に関する基礎データ(都道府県別)①

	北海道	青森	岩手	宮城	秋田	山形	福島	茨城	栃木	群馬	埼玉	千葉												
18歳人口【H28】	48,043	13,314	12,377	21,780	9,583	10,977	19,427	29,054	19,019	19,550	65,936	54,860												
高校等卒業生数【H28】	42,908	12,242	11,390	19,749	8,695	10,204	17,387	25,763	17,656	17,307	57,150	48,944												
大学進学者数【H28】	20,555	4,949	4,612	10,145	3,600	4,242	7,668	14,919	9,211	9,192	33,864	29,188												
大学進学率【H28】	42.8%	37.2%	37.3%	46.6%	37.6%	38.6%	39.5%	51.3%	48.4%	47.0%	51.4%	53.2%												
短大進学率【H28】	5.2%	4.5%	4.1%	4.7%	3.6%	5.5%	4.5%	1.6%	4.2%	4.8%	3.0%	3.2%												
専門学校進学率(現役)【H28】	22.3%	15.3%	19.0%	15.3%	18.0%	18.7%	18.5%	17.9%	17.2%	17.2%	17.1%	17.8%												
大学数【H28】	37	10	5	14	7	6	8	9	9	13	28	27												
大学数(国公私別)【H28】	7 5 25	1 2 7	1 1 3	2 1 11	1 3 3	1 2 3	1 2 5	3 1 5	1 0 8	1 4 8	1 1 26	1 1 25												
入学定員【H28】	18,497	3,812	2,416	11,334	2,090	2,634	3,389	7,012	4,638	6,256	24,011	23,458												
入学定員(国公私別)【H28】	5,617 1,095 11,785	1,322 510 1,980	1,030 440 946	2,741 415 8,178	955 665 470	1,685 143 806	945 454 1,990	3,762 170 3,080	910 0 3,728	1,098 1,482 3,676	1,535 395 22,081	2,322 180 20,956												
大学入学者数【H28】	18,716	3,309	2,458	11,602	2,074	2,824	3,253	7,331	4,459	6,353	30,803	26,116												
県外から流入【H28】	4,922	1,464	1,271	5,775	1,230	1,968	1,802	4,479	2,431	3,668	20,308	16,634												
県内から流出【H28】	6,761	3,104	3,425	4,318	2,756	3,386	6,217	12,067	7,183	6,507	23,369	19,706												
流出入差(流入-流出)【H28】	-1,839	-1,640	-2,154	1,457	-1,526	-1,418	-4,415	-7,588	-4,752	-2,839	-3,061	-3,072												
大学進学者数推計【H45】	15,180	3,226	3,177	8,406	2,248	3,105	5,381	11,458	7,839	6,499	26,965	24,039												
大学入学者数推計【H45】	14,397	2,223	1,856	9,027	1,479	2,058	2,450	5,954	3,824	5,078	27,026	22,227												
入学定員充足率推計【H45】	77.8%	58.3%	76.8%	79.6%	70.7%	78.1%	72.3%	84.9%	82.4%	81.2%	112.6%	94.8%												
県内就職率(国公私別)【H26】	56.3% 62.6% 67.6%	34.5% 41.3% 40.7%	41.7% 37.2% 40.7%	35.2% 44.6% 43.5%	38.1% 14.2% 40.7%	29.1% 49.5% 40.7%	39.9% 36.4% 40.7%	24.6% 57.7% 42.2%	34.8%	42.2%	51.9%	27.7%	42.2%	33.0%	54.8%	22.8%	28.8%	60.0%	21.1%					
地域内就職率(国私別)【H26】	59.9%	67.6%	69.5%	55.7%	70.0%	55.7%	48.4%	62.6%	60.3%	55.7%	53.1%	55.7%	66.3%	55.7%	79.8%	49.4%	79.9%	49.4%	88.9%	49.4%	83.9%	79.6%	84.0%	76.4%

高等教育に関する基礎データ(都道府県別)②

※数値精査中

(特に、埼玉県、神奈川県、山梨県については入学定員充足率(H45)の数値が実際よりも高くなっている可能性があるため、精査が必要。)

	東京	神奈川	新潟	富山	石川	福井	山梨	長野	岐阜	静岡	愛知	三重
18歳人口【H28】	104,632	79,242	22,347	10,098	11,055	7,983	8,748	21,154	20,560	35,404	72,998	18,120
高校等卒業者数【H28】	101,558	66,037	20,059	9,161	10,203	7,348	8,595	18,988	18,029	32,058	63,656	15,952
大学進学者数【H28】	76,039	43,077	9,459	4,527	5,435	3,817	4,930	9,194	9,292	16,890	38,244	7,969
大学進学率【H28】	72.7%	54.4%	42.3%	44.8%	49.2%	47.8%	56.4%	43.5%	45.2%	47.7%	52.4%	44.0%
短大進学率【H28】	6.4%	3.8%	3.0%	4.7%	7.6%	5.8%	6.5%	6.7%	8.5%	3.1%	5.3%	4.1%
専門学校進学率(現役)【H28】	12.2%	15.8%	25.3%	16.5%	13.8%	13.8%	18.2%	21.3%	13.3%	16.8%	12.9%	14.9%
大学数【H28】	137	31	18	5	12	5	7	9	12	14	50	7
大学数(国公私別)【H28】	12 2 123	2 2 27	3 3 12	1 1 3	2 3 7	1 2 2	1 2 4	1 1 7	1 3 8	2 2 10	4 4 42	1 1 5
入学定員【H28】	154,853	36,641	5,835	2,370	5,827	2,095	3,225	3,368	4,820	7,865	40,098	3,030
入学定員(国公私別)【H28】	10,031 1,570 143,252	1,662 1,070 33,909	2,487 583 2,765	1,800 250 320	1,726 350 3,751	855 425 815	825 950 1,450	1,978 80 1,310	1,240 200 3,380	2,145 890 4,830	3,992 1,708 34,398	1,310 100 1,620
大学入学者数【H28】	149,860	48,328	5,948	2,387	5,895	2,285	4,269	3,496	4,608	8,000	42,047	3,149
県外から流入【H28】	99,934	30,898	2,643	1,587	3,542	1,185	2,957	1,928	2,856	3,284	14,759	1,531
県内から流出【H28】	26,113	25,647	6,154	3,727	3,082	2,717	3,618	7,626	7,540	12,174	10,956	6,351
流出入差(流入-流出)【H28】	73,821	5,251	-3,511	-2,140	460	-1,532	-661	-5,698	-4,684	-8,890	3,803	-4,820
大学進学者数推計【H45】	86,793	35,357	6,906	3,397	4,379	2,913	3,698	6,803	7,116	13,950	33,279	6,358
大学入学者数推計【H45】	135,913	42,682	4,502	1,843	4,640	1,728	3,512	2,725	3,691	6,600	35,511	2,627
入学定員充足率推計【H45】	87.8%	116.5%	77.2%	77.8%	79.6%	82.5%	108.9%	80.9%	76.6%	83.9%	88.6%	86.7%
県内就職率(国公私別)【H26】	75.0% 73.5% 66.4%	16.8% 34.0% 23.6%	44.5% 72.4% 66.5%	39.2% 39.0% 47.0%	35.3% 40.7% 47.0%	51.6% 45.3% 47.0%	33.5% 24.3% 66.5%	43.2% 62.3% 66.5%	40.0% 35.0% 54.9%	52.3% 64.5% 54.9%	62.9% 61.3% 54.9%	35.3% 78.7% 58.2%
地域内就職率(国私別)【H26】	82.2% / 81.5%	76.5% / 79.0%	60.1% / 70.9%	78.9% / 61.5%	74.7% / 61.5%	33.3% / 61.5%	63.9% / 70.9%	63.9% / 70.9%	80.6% / 71.5%	73.2% / 71.5%	72.2% / 71.5%	45.2% / 73.2%

高等教育に関する基礎データ(都道府県別)③

※数値精査中

(特に、埼玉県、神奈川県、山梨県については入学定員充足率(H45)の数値が実際よりも高くなっている可能性があるため、精査が必要。)

	滋賀	京都	大阪	兵庫	奈良	和歌山	鳥取	島根	岡山	広島	山口	徳島		
18歳人口【H28】	14,281	23,751	83,765	54,119	14,109	9,930	5,467	6,594	19,115	27,204	13,142	7,021		
高校等卒業者数【H28】	12,656	22,813	74,542	46,442	12,166	8,904	4,900	5,905	17,723	23,468	11,396	6,331		
大学進学者数【H28】	6,882	15,494	47,036	29,241	7,919	4,373	2,147	2,630	8,823	14,672	4,953	3,247		
大学進学率【H28】	48.2%	65.2%	56.2%	54.0%	56.1%	44.0%	39.3%	39.9%	46.2%	53.9%	37.7%	46.2%		
短大進学率【H28】	2.9%	8.3%	6.3%	5.9%	4.0%	2.0%	5.1%	3.8%	7.2%	3.2%	3.4%	5.0%		
専門学校進学率(現役)【H28】	16.7%	13.7%	14.7%	13.8%	13.9%	18.2%	18.9%	21.1%	16.7%	13.0%	17.0%	17.4%		
大学数【H28】	8	34	55	37	11	3	3	2	17	20	10	4		
大学数(国公私別)【H28】	2 1 5	3 4 27	2 2 51	2 3 32	3 2 6	1 1 1	1 1 1	1 1 0	1 2 14	1 4 15	1 3 6	2 0 2		
入学定員【H28】	6,795	31,972	50,582	26,752	4,753	1,520	1,496	1,457	9,149	13,341	4,226	2,943		
入学定員(国公私別)【H28】	950 600 5,245	3,749 846 27,377	4,185 2,776 43,621	2,707 1,782 22,263	730 348 3,675	890 180 450	1,140 276 80	1,157 300 0	2,198 430 6,521	2,338 1,515 9,488	1,917 959 1,350	1,388 0 1,555		
大学入学者数【H28】	7,295	33,415	53,354	27,480	4,872	1,661	1,539	1,497	9,044	13,189	4,384	2,843		
県外から流入【H28】	5,860	25,536	26,895	14,157	3,675	1,171	1,253	1,080	5,231	5,491	3,068	1,624		
県内から流出【H28】	5,447	7,615	20,577	15,918	6,722	3,883	1,861	2,213	5,010	6,974	3,637	2,028		
流出入差(流入-流出)【H28】	413	17,921	6,318	-1,761	-3,047	-2,712	-608	-1,133	221	-1,483	-569	-404		
大学進学者数推計【H45】	6,093	13,371	36,482	23,505	5,727	3,109	1,795	2,257	7,598	12,244	3,839	2,388		
大学入学者数推計【H45】	6,090	27,720	41,609	21,736	3,999	1,247	1,275	1,262	7,512	10,950	3,712	2,103		
入学定員充足率推計【H45】	89.6%	86.7%	82.3%	81.3%	84.1%	82.0%	85.2%	86.6%	82.1%	82.1%	87.8%	71.5%		
県内就職率(国公私別)【H26】	26.3% 27.2% 12.6%	11.3% 43.6% 18.8%	38.9% 46.7% 46.3%	24.4% 36.1% 31.5%	20.5% 31.2% 12.6%	22.9% 56.0% 12.6%	20.4% 40.8% 51.7%	31.1% 27.7%	38.4% 48.4% 51.7%	31.3% 49.0% 60.2%	26.9% 27.7% 51.7%	31.5%	60.5%	
地域内就職率(国私別)【H26】	58.9%	55.4% 21.2%	54.3% 56.5%	62.8% 52.7%	62.7% 62.7%	55.4%	54%	55.4% 42.8%	64.3% 62.3%	52.3%	64.3% 40.5%	70.0% 47.7%	64.3% 44.6%	75.5%

高等教育に関する基礎データ(都道府県別)④

※数値精査中

(特に、埼玉県、神奈川県、山梨県については入学定員充足率(H45)の数値が実際よりも高くなっている可能性があるため、精査が必要。)

	香川	愛媛	高知	福岡	佐賀	長崎	熊本	大分	宮崎	鹿児島	沖縄	その他									
18歳人口【H28】	9,440	13,827	6,781	48,126	9,173	14,241	17,773	11,174	11,609	16,724	16,635										
高校等卒業者数【H28】	8,537	12,205	6,181	42,094	8,254	12,915	15,719	10,343	10,657	14,928	14,234										
大学進学者数【H28】	4,461	6,296	2,766	22,829	3,532	5,551	7,381	4,088	4,439	5,988	6,097	16,560									
大学進学率【H28】	47.3%	45.5%	40.8%	47.4%	38.5%	39.0%	41.5%	36.6%	38.2%	35.8%	36.7%										
短大進学率【H28】	3.5%	4.7%	4.1%	7.8%	4.7%	3.0%	2.2%	8.1%	2.7%	6.6%	2.8%	※「その他」とは、「外国において、学校教育における12年の課程を修了した者」「専修学校高等課程の修了者」及び「高等学校卒業程度認定試験規則(平成17年文部科学省令第1号)により文部科学大臣が行う高等学校卒業程度認定試験に合格した者」等である(学校教育法施行規則第150条)									
専門学校進学率(現役)【H28】	16.6%	19.0%	19.0%	14.6%	16.8%	16.2%	18.6%	20.5%	17.1%	19.6%	26.7%										
大学数【H28】	4	5	3	34	2	10	9	5	7	6	8										
大学数(国公私別)【H28】	1 1 2	1 1 3	1 2 0	3 4 27	1 0 1	1 3 6	1 1 7	1 1 3	1 2 4	2 0 4	1 3 4										
入学定員【H28】	2,224	3,480	1,935	25,285	1,741	4,019	5,982	3,400	2,510	3,735	3,952										
入学定員(国公私別)【H28】	1,239 90 895	1,770 100 1,610	1,075 860 0	4,111 1,940 19,234	1,291 0 450	1,639 690 1,690	1,722 480 3,780	1,070 80 2,250	1,035 300 1,175	2,120 0 1,615	1,587 640 1,725										
大学入学者数【H28】	2,077	3,439	2,023	25,884	1,744	3,904	5,981	2,987	2,423	3,543	4,275										
県外から流入【H28】	1,292	1,515	1,446	11,143	1,252	2,042	2,661	2,043	1,264	1,611	964										
県内から流出【H28】	3,676	4,372	2,189	8,088	3,040	3,689	4,061	3,144	3,280	4,056	2,786										
流出入差(流入-流出)【H28】	-2,384	-2,857	-743	3,055	-1,788	-1,647	-1,400	-1,101	-2,016	-2,445	-1,822										
大学進学者数推計【H45】	3,752	4,614	2,119	21,652	2,950	4,124	6,417	3,546	3,537	5,213	6,218	12,523									
大学入学者数推計【H45】	1,731	2,837	1,632	23,044	1,553	3,094	5,263	2,447	2,091	3,083	3,981										
入学定員充足率推計【H45】	77.8%	81.5%	84.4%	91.1%	89.2%	77.0%	88.0%	72.0%	83.3%	82.5%	100.7%										
県内就職率(国公私別)【H26】	37.2% 56.3% 60.5%	39.9% 49.4% 60.5%	22.4% 25.2%	42.7% 51.0% 48.9%	31.0%	52.0%	26.3% 34.6% 52.0%	34.6% 55.7% 52.0%	35.7% 52.1% 52.0%	38.9% 42.5% 52.0%	36.8%	52.0%	70.1% 51.2% 52.0%								
地域内就職率(国私別)【H26】	48.0%	75.5%	48.2%	75.5%	42.2%	54.8%	61.3%	74.7%	73.5%	63.5%	73.5%	76.1%	73.5%	63.0%	73.5%	71.4%	73.5%	67.0%	73.5%	75.0%	73.5%

高等教育に関する基礎データ(都道府県別)について

《注》※数値については精査が必要なものもあり、今後修正の可能性がある。特に、埼玉県、神奈川県、山梨県については入学定員と大学入学者数をカウントする都道府県が一致していない等の理由により、入学定員充足率【H45】の数値が実際よりも高くなっている可能性があるため、精査が必要。

- 18歳人口:各県における3年前の中学校卒業者及び中等教育学校前期課程修了者数
- 高校等卒業者数:各県における当該年度の高等学校卒業者数及び中等教育学校後期課程修了者数
- 大学進学者数:各県に所在する高校等を卒業した者で当該年度に全国いずれかの大学に進学した者の数(過年度卒業者等を含む)
- 大学進学率:各県における18歳人口に占める大学進学者数の割合(過年度卒業者等を含む)
- 短大進学率:各県における18歳人口に占める短大進学者数の割合(過年度卒業者等を含む)
- 専門学校進学率(現役):各県における高校等卒業者数のうち、直ちに専門学校へ進学した者の割合(現役進学者のみ)
- 大学数:各県に所在する大学の数(※大学本部の所在地による)
- 入学定員:各県に所在する大学の入学定員(※学部の所在地による)
- 大学入学者数:当該年度に、各県に所在する大学(※入学した学部の所在地による)に入学した者の数(過年度卒業者、高卒認定試験合格者、外国の学校の課程を修了した者等を含む)
- 県外から流入:当該大学の所在する県以外の高校等卒業者で当該大学へ入学した者(過年度卒業者等を含む)
- 県内から流出:当該大学の所在する県内の高校等卒業者で当該県(自県)以外の大学へ入学した者(過年度卒業者等を含む)
- 流出入差(流入-流出):「県外から流入」-「県内から流出」
※《出典》上記のうち、入学定員以外:文部科学省「学校基本統計(平成28年度)」を元に作成、入学定員:文部科学省調べ
- 大学進学者数推計【H45】:各県におけるH45の大学進学率がH27と同率と仮定した場合の各県におけるH45の大学進学者数(国立教育政策研究所による推計)
- 大学入学者数推計【H45】:各県におけるH45の大学進学率がH27と同率と仮定した場合の各県におけるH45の大学入学者数(国立教育政策研究所による推計)
- 入学定員充足率推計【H45】:H45の入学定員がH28と同じ場合の入学定員充足率(国公私立合計)
- 県内就職率(国公私別)【H26】:H26年8月に文部科学省が各大学に対して行ったアンケートにおいて、各県の大学を卒業して就職した者のうち、当該大学の所在県内に就職した者の数。私立大学については学校法人に対する任意のアンケートに対して回答があったものを集計しており、個別大学ごとではなく集計値で公表することを前提にアンケートを実施したため地域単位で括ったデータとなっており、また、各大学が保有する就職地に関するデータは、各大学によって、「学生が就職した本社所在地」で把握している場合と、「学生が配属された地域」で把握している場合の両方があり、集計方法が異なっているため、単純に比較することはできない(例:北海道に本社のある企業の東京支社に配属された場合、「北海道」とカウントするか「東京」とカウントするかが大学によって異なっている)。
- 地域内就職率(国私別)【H26】:H26年8月に文部科学省が各大学に対して行ったアンケートにおいて、各県の大学を卒業して就職した者のうち、当該大学の所在地域内(※)に就職した者の数。

(※)地域区分・・・(国立)「北海道・東北」…北海道、青森、岩手、秋田、宮城、山形、福島 「関東」…栃木、群馬、茨城、埼玉、千葉、東京、神奈川

「中部」…新潟、富山、石川、福井、山梨、長野、岐阜、静岡、愛知 「近畿」…三重、滋賀、京都、大阪、兵庫、奈良、和歌山

「中国」…鳥取、島根、岡山、広島、山口 「四国」…香川、徳島、愛媛、高知 「九州」…福岡、佐賀、大分、長崎、熊本、宮崎、鹿児島、沖縄

(私立)「北海道」…北海道 「東北」…青森、岩手、秋田、宮城、山形、福島 「北関東」…茨城、栃木、群馬 「南関東」…埼玉、千葉、東京、神奈川

「甲信越」…新潟、山梨、長野 「北陸」…富山、石川、福井 「東海」…岐阜、静岡、愛知、三重 「近畿」…滋賀、京都、大阪、兵庫、奈良、和歌山

「中国」…鳥取、島根、岡山、広島、山口 「四国」…香川、徳島、愛媛、高知 「九州」…福岡、佐賀、大分、長崎、熊本、宮崎、鹿児島、沖縄

※公立大学については地域内就職者のデータがない。

栃木・群馬両県内大学の小学校・中学校教科免許状況

栃木県

	小学校	中学校									
		国語	数学	理科	社会	英語	保体	音楽	美術	家庭	技術
宇都宮大学	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
A大学	○	○									
B大学	○				○	○	○				
C大学					○						
D大学									○		
E大学											○
F大学			○	○	○		○				

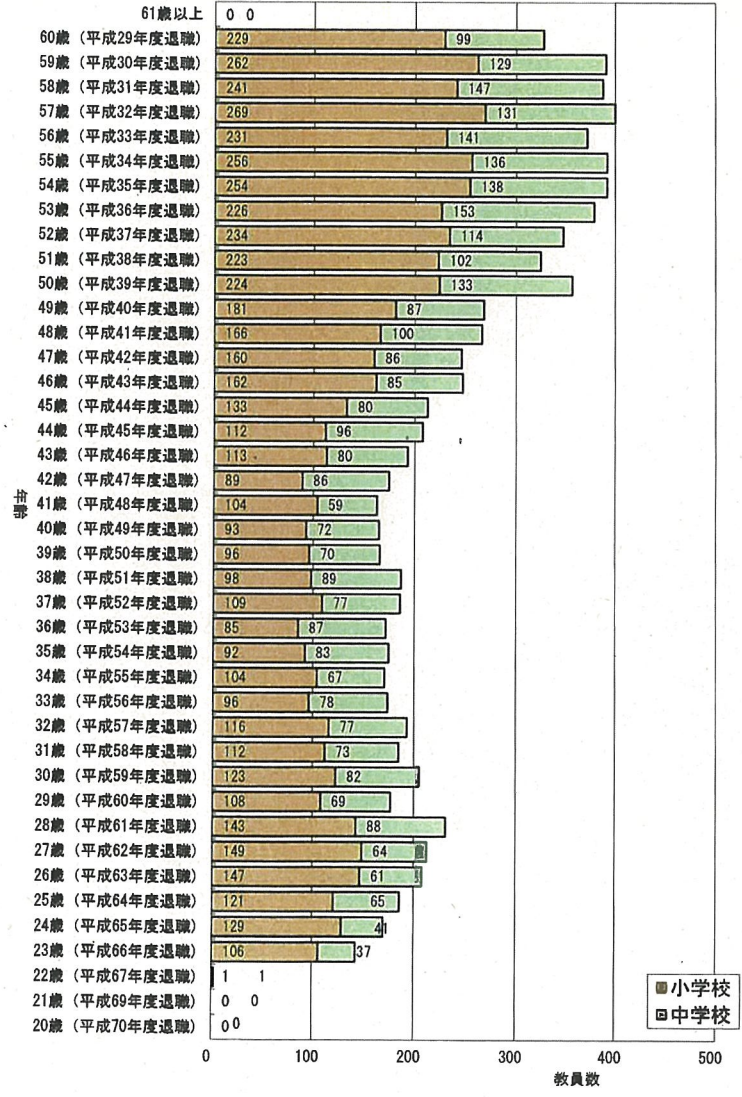
群馬県

	小学校	中学校									
		国語	数学	理科	社会	英語	保体	音楽	美術	家庭	技術
群馬大学	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
G大学		○				○			○		
H大学	○				○	○					
I大学	○				○						
J大学	○					○					
K大学	○					○					
L大学					○						
M大学					○		○				
N大学							○				
O大学	○						○				

栃木県 **平均年齢 44.7歳**

(全国平均 42.9歳)

公立小・中学校 年齢別教員数(H30.3.31)

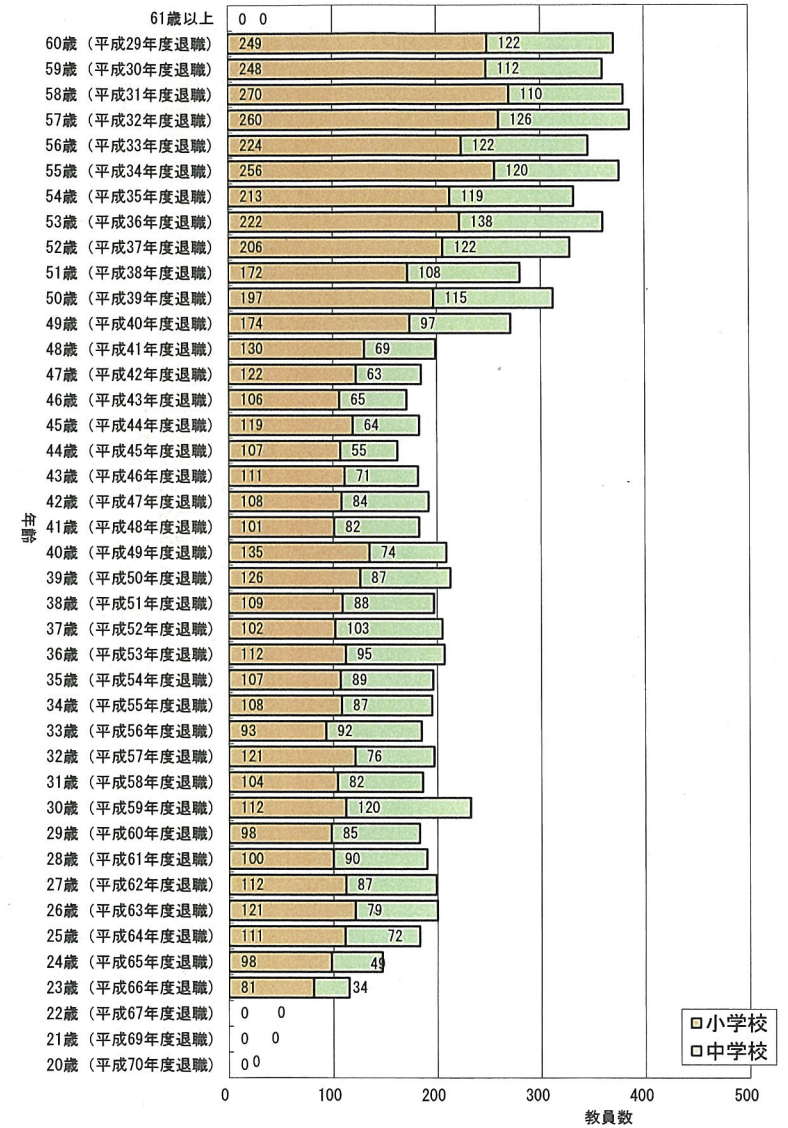


出典：文部科学省作成資料

群馬県 **平均年齢 44.4歳**

(全国平均 42.9歳)

公立小・中学校 年齢別教員数(H30.3.31)



出典：文部科学省作成資料

全国 年齢別本務教員数（小学校、中学校、中等教育学校、特別支援学校 公立）

小学校	計			19歳以下	20歳	21歳	22歳	23歳	24歳	25歳	26歳	27歳	28歳	29歳	30歳	31歳	32歳	33歳	34歳	35歳	36歳	37歳	38歳	39歳	40歳	41歳	42歳	43歳	44歳	45歳
	計	男	女																											
全 国	373,332	142,392	230,940	—	17	39	2,663	6,700	8,067	8,681	9,008	9,435	9,854	9,932	9,443	9,476	9,444	9,403	8,981	8,888	8,789	8,444	8,086	7,555	7,319	7,410	7,736	8,020	7,965	8,289
中学校	計			19歳以下	20歳	21歳	22歳	23歳	24歳	25歳	26歳	27歳	28歳	29歳	30歳	31歳	32歳	33歳	34歳	35歳	36歳	37歳	38歳	39歳	40歳	41歳	42歳	43歳	44歳	45歳
	計	男	女																											
全 国	215,996	123,752	92,244	—	1	20	987	2,796	3,593	4,406	5,141	5,593	5,851	5,725	5,386	5,311	5,276	5,097	4,881	4,762	4,624	4,495	4,527	4,320	4,534	4,546	5,086	5,150	5,102	5,031
中等教育学校	計			19歳以下	20歳	21歳	22歳	23歳	24歳	25歳	26歳	27歳	28歳	29歳	30歳	31歳	32歳	33歳	34歳	35歳	36歳	37歳	38歳	39歳	40歳	41歳	42歳	43歳	44歳	45歳
	計	男	女																											
全 国	1,522	971	551	—	—	—	2	9	4	6	18	17	25	34	26	37	42	37	40	32	61	42	52	49	57	49	51	59	58	57
特別支援学校	計			19歳以下	20歳	21歳	22歳	23歳	24歳	25歳	26歳	27歳	28歳	29歳	30歳	31歳	32歳	33歳	34歳	35歳	36歳	37歳	38歳	39歳	40歳	41歳	42歳	43歳	44歳	45歳
	計	男	女																											
全 国	69,052	26,723	42,329	—	—	4	355	958	1,193	1,413	1,506	1,642	1,818	1,764	1,581	1,654	1,677	1,697	1,645	1,580	1,667	1,717	1,702	1,752	1,794	1,866	1,932	1,977	1,972	1,917

小学校	計			46歳	47歳	48歳	49歳	50歳	51歳	52歳	53歳	54歳	55歳	56歳	57歳	58歳	59歳	60歳	61歳	62歳	63歳	64歳	65歳	66歳以上	平均年齢（歳）			小学校
	計	男	女																						計	男	女	
全 国	373,332	142,392	230,940	8,275	8,911	9,791	11,151	9,036	11,363	11,214	11,711	12,070	12,780	13,536	14,304	14,199	13,231	7,795	2,057	1,030	681	358	149	46	43.4	44.4	42.8	全 国
中学校	計			46歳	47歳	48歳	49歳	50歳	51歳	52歳	53歳	54歳	55歳	56歳	57歳	58歳	59歳	60歳	61歳	62歳	63歳	64歳	65歳	66歳以上	平均年齢（歳）			中学校
	計	男	女																						計	男	女	
全 国	215,996	123,752	92,244	5,001	5,382	5,626	6,242	5,192	6,918	7,337	7,929	8,204	8,267	8,361	8,255	7,728	6,406	3,902	1,379	751	461	270	108	36	43.9	44.8	42.8	全 国
中等教育学校	計			46歳	47歳	48歳	49歳	50歳	51歳	52歳	53歳	54歳	55歳	56歳	57歳	58歳	59歳	60歳	61歳	62歳	63歳	64歳	65歳	66歳以上	平均年齢（歳）			中等教育学校
	計	男	女																						計	男	女	
全 国	1,522	971	551	33	52	53	38	39	53	53	61	50	56	39	41	35	29	8	7	7	2	1	—	1	44.2	45.0	42.8	全 国
特別支援学校	計			46歳	47歳	48歳	49歳	50歳	51歳	52歳	53歳	54歳	55歳	56歳	57歳	58歳	59歳	60歳	61歳	62歳	63歳	64歳	65歳	66歳以上	平均年齢（歳）			特別支援学校
	計	男	女																						計	男	女	
全 国	69,052	26,723	42,329	1,873	1,851	1,893	2,006	1,670	2,188	2,162	2,255	2,266	2,226	2,161	2,046	1,939	1,729	1,065	437	219	139	97	35	12	43.2	45.0	42.1	全 国

(資料 3)

平成30年3月卒業者の大学別就職状況〔教員養成課程〕

大学名	卒業生数 (A)	正規採用 (B)	臨時的任用 (C)	合計 (D)=(B+C)	平成30年 教員就職率 (正規+臨時) (D/A)	平成29年 教員就職率 (正規+臨時)	保育士への 就職率	大学院等 進学率	平成30年 教員就職率 (正規+臨時) (進学者・保育士除 く)	平成29年 教員就職率 (正規+臨時) (進学者・保育士除 く)	教員・保育士 以外への 就職率	その他 未就職率
北海道教育	729 (708)	232 (212)	183 (191)	415 (403)	56.9%	56.9%	0.0% (0.0%)	8.4% (9.7%)	62.1%	63.1%	29.6% (26.4%)	5.1% (6.9%)
弘前	163 (168)	63 (57)	21 (35)	84 (92)	51.5%	54.8%	0.6% (0.0%)	8.0% (7.7%)	56.4%	59.4%	30.7% (29.2%)	9.2% (8.3%)
岩手	159 (164)	57 (55)	31 (16)	88 (71)	55.3%	43.3%	0.0% (0.0%)	7.5% (9.8%)	59.9%	48.0%	30.2% (41.5%)	6.9% (5.5%)
宮城教育	350 (364)	128 (153)	77 (74)	205 (227)	58.6%	62.4%	2.9% (1.6%)	8.9% (10.4%)	66.3%	70.9%	22.9% (19.5%)	6.9% (6.0%)
秋田	111 (96)	30 (36)	32 (30)	62 (66)	55.9%	68.8%	6.3% (1.0%)	11.7% (7.3%)	68.1%	75.0%	20.7% (18.8%)	5.4% (4.2%)
茨城	255 (256)	119 (107)	38 (48)	157 (155)	61.6%	60.5%	0.0% (0.0%)	15.7% (12.9%)	73.0%	69.5%	18.4% (21.5%)	4.3% (5.1%)
宇都宮	157 (152)	63 (53)	23 (40)	86 (93)	54.8%	61.2%	3.2% (0.0%)	7.6% (8.6%)	61.4%	66.9%	31.2% (26.3%)	3.2% (3.9%)
群馬	222 (229)	110 (113)	39 (28)	149 (141)	67.1%	61.6%	0.0% (0.0%)	10.8% (10.9%)	75.3%	69.1%	16.2% (21.4%)	5.9% (6.1%)
埼玉	461 (502)	167 (172)	71 (86)	238 (258)	51.6%	51.4%	3.0% (3.0%)	13.9% (8.8%)	62.1%	58.2%	26.0% (29.1%)	5.4% (7.8%)
千葉	409 (402)	143 (138)	88 (88)	231 (226)	56.5%	56.2%	1.2% (2.7%)	9.5% (12.7%)	63.3%	66.5%	27.6% (20.6%)	5.1% (7.7%)
東京学芸	779 (739)	243 (236)	164 (165)	407 (401)	52.2%	54.3%	1.2% (1.2%)	17.5% (19.2%)	64.2%	68.2%	25.0% (18.7%)	4.1% (6.6%)
横浜国立	235 (226)	89 (81)	14 (25)	103 (106)	43.8%	46.9%	0.0% (0.0%)	11.5% (12.4%)	49.5%	53.5%	43.0% (34.1%)	1.7% (6.6%)
新潟	214 (218)	97 (89)	29 (29)	126 (118)	58.9%	54.1%	0.0% (0.0%)	10.3% (7.3%)	65.6%	58.4%	26.2% (33.5%)	4.7% (5.0%)
上越教育	162 (168)	66 (70)	42 (40)	108 (110)	66.7%	65.5%	3.1% (5.4%)	14.2% (13.1%)	80.6%	80.3%	14.8% (13.1%)	1.2% (3.0%)
金沢	105 (101)	48 (53)	15 (22)	63 (75)	60.0%	74.3%	2.9% (2.0%)	3.8% (4.0%)	64.3%	78.9%	28.6% (17.8%)	4.8% (2.0%)
福井	107 (101)	38 (29)	23 (14)	61 (43)	57.0%	42.6%	0.0% (1.0%)	15.9% (26.7%)	67.8%	58.9%	25.2% (26.7%)	1.9% (3.0%)
山梨	120 (130)	35 (44)	21 (22)	56 (66)	46.7%	50.8%	4.2% (2.3%)	16.7% (13.1%)	58.9%	60.0%	28.3% (29.2%)	4.2% (4.6%)
信州	242 (240)	97 (77)	47 (66)	144 (143)	59.5%	59.6%	0.0% (0.0%)	10.7% (13.8%)	66.7%	69.1%	25.2% (22.1%)	4.5% (4.6%)
岐阜	250 (247)	103 (101)	42 (40)	145 (141)	58.0%	57.1%	0.0% (0.0%)	12.8% (16.2%)	66.5%	68.1%	27.6% (23.1%)	1.6% (3.6%)
静岡	297 (285)	116 (101)	48 (44)	164 (145)	55.2%	50.9%	1.0% (1.8%)	8.4% (11.6%)	61.0%	58.7%	32.0% (29.5%)	3.4% (6.3%)
愛知教育	677 (679)	280 (299)	154 (154)	434 (453)	64.1%	66.7%	0.7% (1.0%)	6.5% (6.5%)	69.1%	72.1%	26.0% (23.1%)	2.7% (2.7%)
三重	185 (142)	92 (57)	23 (30)	115 (87)	62.2%	61.3%	3.8% (7.0%)	7.6% (11.3%)	70.1%	75.0%	24.3% (16.9%)	2.2% (3.5%)
滋賀	215 (226)	103 (112)	37 (42)	140 (154)	65.1%	68.1%	0.5% (3.1%)	10.7% (6.2%)	73.3%	75.1%	18.6% (17.3%)	5.1% (5.3%)
京都教育	307 (301)	93 (106)	84 (66)	177 (172)	57.7%	57.1%	1.6% (1.0%)	16.3% (15.9%)	70.2%	68.8%	22.5% (21.3%)	2.0% (4.7%)
大阪教育	562 (554)	202 (217)	134 (110)	336 (327)	59.8%	59.0%	1.1% (0.4%)	11.0% (12.3%)	68.0%	67.6%	24.6% (22.7%)	3.6% (5.6%)
兵庫教育	164 (168)	69 (72)	54 (54)	123 (126)	75.0%	75.0%	3.0% (5.4%)	10.4% (4.8%)	86.6%	83.4%	10.4% (7.7%)	1.2% (7.1%)
奈良教育	269 (253)	100 (100)	58 (58)	158 (158)	58.7%	62.5%	1.9% (2.4%)	9.7% (10.7%)	66.4%	71.8%	25.3% (17.4%)	4.5% (7.1%)
和歌山	142 (137)	50 (49)	32 (40)	82 (89)	57.7%	65.0%	0.0% (0.0%)	11.3% (8.8%)	65.1%	71.2%	26.8% (21.2%)	4.2% (5.1%)
島根	161 (157)	32 (51)	61 (54)	93 (105)	57.8%	66.9%	0.6% (1.9%)	11.8% (7.0%)	66.0%	73.4%	24.8% (20.4%)	5.0% (3.8%)
岡山	281 (284)	100 (111)	52 (45)	152 (156)	54.1%	54.9%	2.8% (1.8%)	12.1% (12.3%)	63.6%	63.9%	28.1% (26.4%)	2.8% (4.6%)
広島	189 (182)	81 (101)	21 (18)	102 (119)	54.0%	65.4%	0.0% (0.0%)	15.9% (11.0%)	64.2%	73.5%	20.1% (13.7%)	10.1% (9.9%)
山口	129 (129)	75 (73)	19 (20)	94 (93)	72.9%	72.1%	0.8% (1.6%)	7.8% (7.0%)	79.7%	78.8%	12.4% (17.1%)	6.2% (2.3%)
鳴門教育	105 (104)	46 (51)	24 (31)	70 (82)	66.7%	78.8%	3.8% (1.0%)	16.2% (13.5%)	83.3%	92.1%	13.3% (5.8%)	0.0% (1.0%)
香川	142 (124)	69 (52)	20 (21)	89 (73)	62.7%	58.9%	6.3% (2.4%)	4.2% (4.8%)	70.1%	63.5%	24.6% (28.2%)	2.1% (5.6%)
愛媛	127 (139)	65 (59)	22 (25)	87 (84)	68.5%	60.4%	1.6% (2.9%)	9.4% (10.1%)	77.0%	69.4%	16.5% (23.0%)	3.9% (3.6%)
高知	105 (102)	53 (45)	15 (27)	68 (72)	64.8%	70.6%	2.9% (1.0%)	7.6% (3.9%)	72.3%	74.2%	18.1% (16.7%)	6.7% (7.8%)
福岡教育	500 (524)	247 (243)	101 (112)	348 (355)	69.6%	67.7%	2.4% (1.0%)	6.4% (7.3%)	76.3%	73.8%	15.8% (16.8%)	5.8% (7.3%)
佐賀	93 (89)	38 (36)	20 (22)	58 (58)	62.4%	65.2%	0.0% (2.2%)	5.4% (1.1%)	65.9%	67.4%	25.8% (28.1%)	6.5% (3.4%)
長崎	244 (220)	118 (77)	32 (45)	150 (122)	61.5%	55.5%	5.7% (10.5%)	3.7% (5.5%)	67.9%	65.9%	23.8% (23.6%)	5.3% (5.0%)
熊本	230 (245)	92 (89)	51 (43)	143 (132)	62.2%	53.9%	0.0% (0.0%)	12.6% (13.5%)	71.1%	62.3%	20.4% (22.0%)	4.8% (10.6%)
大分	112 (104)	61 (53)	14 (22)	75 (75)	67.0%	72.1%	1.8% (0.0%)	8.9% (15.4%)	75.0%	85.2%	12.5% (7.7%)	9.8% (4.8%)
宮崎	159 (143)	70 (49)	38 (42)	108 (91)	67.9%	63.6%	0.0% (0.0%)	10.1% (7.7%)	75.5%	68.9%	15.1% (21.0%)	6.9% (7.7%)
鹿児島	237 (218)	54 (57)	56 (45)	110 (102)	46.4%	46.8%	0.0% (0.0%)	10.1% (9.2%)	51.6%	51.5%	37.1% (27.5%)	6.3% (16.5%)
琉球	98 (96)	31 (32)	22 (17)	53 (49)	54.1%	51.0%	1.0% (0.0%)	8.2% (11.5%)	59.6%	57.6%	27.6% (29.2%)	9.2% (8.3%)
計	10,960 (10,816)	4,265 (4,168)	2,192 (2,246)	6,457 (6,414)	58.9%	59.3%	1.4% (1.4%)	10.6% (10.8%)	67.0%	67.5%	24.5% (22.5%)	4.5% (6.0%)

(注1) 平成30年3月卒業生(平成30年9月30日現在)の数とし、()内は、平成29年3月卒業生(平成29年9月30日現在)の数である。

(注2) 「教員就職者」は、国公私立の幼稚園、幼保連携型認定こども園、小・中・義務教育・高等・中等教育・特別支援学校の教員(養護教諭及び栄養教諭を含む)として就職した者を指す。

(注3) 「臨時的任用」は、臨時的に病休、産休、育児休業などの代替教員等として任用された者を指す。

(注4) 「平成30年教員就職率(進学者・保育士除く)」は、卒業生数から大学院等への進学者と保育士への就職者を除いた数を母数とした場合の教員就職率(%)である。

(注5) 保育士とは、保育所および認定こども園(幼保連携型は除く。)への就職者である。

※パーセントの表記は、小数第2位を四捨五入しているため、合計が100%にならない場合もある。

採用予定数

	H27				H28				H29				H30				
	群馬	茨城	栃木	埼玉	群馬	茨城	栃木	埼玉	群馬	茨城	栃木	埼玉	群馬	茨城	栃木	埼玉	
小学校		335		790		330		770		320		820		330		770	
中学校	国語					28				28				31			
	社会					19				23				26			
	数学					37				37				40			
	理科					37				37				38			
	音楽	360	11	370	450	360	11	370	430	330	11	370	490	300	12	370	440
	美術		12				12				12				13		
	保体		23				25				29				32		
	技術		10				10				10				11		
	家庭		10				10				10				11		
	英語		31				31				33				36		
	計	360	215	370	450	360	220	370	430	330	230	370	490	300	250	370	440
合計	360	550	370	1,240	360	550	370	1,200	330	550	370	1,310	300	580	370	1,210	

合格者数

	H27				H28				H29				H30				
	群馬	茨城	栃木	埼玉	群馬	茨城	栃木	埼玉	群馬	茨城	栃木	埼玉	群馬	茨城	栃木	埼玉	
小学校	30	354	253	747	30	345	256	750	40	329	305	821	63	344	294	770	
中学校	国語	30	29	14	61	34	29	20	65	32	29	17	76	23	33	22	67
	社会	35	17	25	70	28	20	18	70	27	24	26	68	24	26	21	53
	数学	43	41	19	51	48	42	19	45	35	40	13	60	37	46	18	65
	理科	39	39	22	71	42	40	22	67	33	40	15	73	27	42	16	50
	音楽	31	13	6	23	26	12	6	18	20	12	9	24	21	13	9	18
	美術	12	12	3	20	10	12	5	19	10	12	1	17	6	13	2	21
	保体	42	24	22	54	32	27	10	50	35	33	16	63	29	34	15	67
	技術	9	12	2	21	8	12	2	18	6	10	3	18	6	13	2	16
	家庭	9	11	1	15	9	11	2	13	11	11	3	18	10	11	4	16
	英語	49	33	19	65	59	33	24	65	46	34	18	73	45	38	21	67
	計	299	231	133	451	296	238	128	430	255	245	121	490	228	269	130	440
合計	329	585	386	1,198	326	583	384	1,180	295	574	426	1,311	291	613	424	1,210	

栃木県・群馬県教員採用試験における宇都宮大学・群馬大学の学生の状況

宇都宮大学

試験区分	県内採用合格者				採用合格者(宇都宮大学)				配属先			
	H27	H28	H29	H30	H27	H28	H29	H30	H27	H28	H29	H30
小学校	253	256	305	294	37	22	25	32	37	22	25	32
中学校	133	128	121	130	15	11	13	14	15	11	13	14
高等学校	69	73	79	86	5	3	1	4	5	3	1	4
特別支援学校	36	33	33	36	2	1	0	1	2	1	0	1
計	491	490	538	546	59	37	39	51	59	37	39	51

栃木県の教員採用は、小学校及び中学校単位で行われ、配属も採用時のままとっている。

採用は小学校の方が中学校の2倍程度と、小学校が主となっている。

群馬大学

試験区分	県内採用合格者				採用合格者(群馬大学)				配属先			
	H27	H28	H29	H30	H27	H28	H29	H30	H27	H28	H29	H30
小学校	30	30	40	63	1	1	2	3	53	46	53	57
中学校	299	296	255	228	83	70	69	77	32	25	18	23
高等学校	64	72	69	64	7	6	9	3	7	4	8	3
特別支援学校	31	34	31	50	3	4	9	8	2	6	10	8
計	424	432	395	405	94	81	89	91	94	81	89	91

群馬県は中学校で多数採用しているが、配属先は大半が小学校となっている。

群馬県の特徴として、中学校合格者を多く採用し、そこから小学校に振り分けるといふシステムをとっている。

栃木県教員採用の推計、宇都宮大学の卒業者(入学定員)推計予測

		第3期						第4期		第5期		第6期
		H28	H29	H30	H31(R1)	H32(R2)	H33(R3)	H36(R6)	H39(R9)	H42(R12)	H45(R15)	H47(R17)
小学校	生徒数	103,747	102,325	100,715	99,051	97,745	95,312	90,619	86,245	81,871	77,497	74,581
	前年差	-1,358	-1,442	-1,610	-1,664	-1,306	-2,433	-1,614	-1,458	-1,458	-1,458	-1,458
	生徒数/教員1人	114.8	14.6	14.4	14.3	14.1	13.9	13.4	12.9	12.4	11.9	11.5
	教員数	6,995	6,994	6,980	6,946	6,937	6,847	6,758	6,686	6,608	6,523	6,463
	前年差	12	-1	-14	-33	-9	-90	-34	-25	-27	-29	-31

中学校	生徒数	55,235	53,888	53,445	52,619	51,604	51,429	49,286	47,591	45,896	44,201	43,071
	前年差	-566	-1,347	-443	-826	-1,015	-175	-1,073	-565	-565	-565	-565
	生徒数/教員1人	12.9	12.9	12.8	12.7	12.7	12.6	12.3	12.1	11.9	11.6	11.5
	教員数	4,268	4,187	4,169	4,130	4,076	4,088	3,994	3,933	3,870	3,804	3,758
	前年差	-12	--81	-18	-39	-54	12	-61	-21	-21	-22	-23

小中教員計 (a)	11,263	11,181	11,148	11,076	11,013	10,935	10,752	10,619	10,478	10,327	10,221
定年退職予定数 (b)	292	328	402	387	404	394	388	396	288	205	174
退職後人数 (c = a-b)	10,971	10,853	10,746	10,689	10,609	10,541	10,364	10,223	10,190	10,122	10,047
採用予定数 (a - 前年度c)	384	424	424	330	324	326	315	313	250	180	148
県内採用者(過去3年占有率11%)	36	41	47	36	36	36	35	34	27	20	16
卒業者数(卒業者に占める割合20%)	152	157	235	180	180	180	175	170	135	100	80

新卒者県内(正規)占有率	9.38	9.67	11.1	10.9	11.1	11.0	11.1	10.9	10.8	11.1	10.8
卒業生全体に占める割合	23.7	26.1	20.0	20.0	20.0	20.0	20.0	20.0	20.0	20.0	20.0

※ 宇都宮大学による推計予測

群馬県教員採用の推計、群馬大学の卒業生(入学定員)推計予測

群馬県教員採用予定等の動向		第3期						第4期		第5期		第6期
		H28	H29	H30	H31(R1)	H32(R2)	H33(R3)	H36(R6)	H39(R9)	H42(R12)	H45(R15)	H47(R17)
小学校	生徒数	103,990	102,310	101,006	99,142	96,869	94,518	87,391	81,541	75,691	69,841	65,941
	前年差	-1,837	-1,680	-1,304	-1,864	-2,273	-2,351	-2,302	-1,950	-1,950	-1,950	-1,950
	教員1人あたり 生徒数	15.10	14.90	14.70	14.50	14.20	14.00	13.10	12.30	11.60	10.80	10.30
	教員数	6,891	6,882	6,855	6,828	6,801	6,774	6,693	6,612	6,531	6,450	6,396
	前年差	-46	-9	-27	-27	-27	-27	-27	-27	-27	-27	-27
中学校	生徒数	55,957	54,421	53,811	52,817	52,096	52,008	48,998	47,072	45,146	43,220	41,936
	前年差	-787	-1,536	-610	-994	-721	-88	-1,375	-642	-642	-642	-642
	教員1人あたり 生徒数	13.40	13.20	13.10	12.90	12.80	12.90	12.30	12.10	11.80	11.50	11.30
	教員数	4,167	4,138	4,114	4,090	4,066	4,042	3,970	3,898	3,826	3,754	3,706
	前年差	-33	-29	-24	-24	-24	-24	-24	-24	-24	-24	-24
小中教員計		11,058	11,020	10,969	10,918	10,867	10,816	10,663	10,510	10,357	10,204	10,102
定年退職予定数		370	374	360	380	386	346	360	312	185	162	192
退職後人数			10,646	10,609	10,538	10,481	10,470	10,303	10,198	10,172	10,042	9,910
採用予定数		326	295	323	309	329	335	281	229	148	132	131
県内採用者数(25%)		71	71	81	77	82	84	70	57	37	33	33
卒業生数(34%)		219	229	238	226	241	247	206	168	109	97	97
新卒者県内占有率		21.78	24.07	25.08	24.92	24.92	25.07	24.91	24.89	25.00	25.00	25.19
卒業生に占める割合		32.42	31.00	34.03	34.07	34.02	34.01	33.98	33.93	33.94	34.02	34.02

※ 群馬大学による推計予測

オープンキャンパス等参加者数推移

宇都宮大学(教育学部)

	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
開催日 (参考:海の日を含む3連休)	7/21(月・祝) (7/19、20、21)	7/20(月・祝) (7/18、19、20)	7/18(月・祝) (7/16、17、18)	7/17(月・祝) (7/15、16、17)	7/16(月・祝) (7/14、15、16)
参加者	2,370	2,645	2,145	2,184	1,761

群馬大学(教育学部)

全学オープンキャンパス

	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	
開催日	8/3(日)	8/2(日)	7/31(日)	7/9(月)	7/8(日)	8/17(金)
参加者	951	790	825	595	693	1,620
(うち高校生)	695	602	581	397	460	1,180

学部オープンキャンパス

	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
開催日	7/21(月)	7/20(月)	7/18(月)	7/17(月)	7/16(月)
参加者	748	709	720	801	910
(うち高校生)	631	621	581	566	593
次年度入試志願者数	1,258	957	938	838	

教育学部専攻別説明会事前申込者数(人)

	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
国語	83	52	90	85	97
社会	95	79	101	105	147
英語	68	45	90	74	95
数学	94	58	100	106	106
理科	59	53	85	68	99
技術	2	2	5	1	3
音楽	46	48	38	50	52
美術	22	8	15	18	26
家政	10	19	12	24	32
保健体育	59	36	46	48	46
教育・教育心理	42	48	60		
教育				50	50
教育心理				38	42
障害児教育	39	23	46	36	49
未定	1	0	0	0	0
合計	620	471	688	703	844

県内高校の進路指導教員との意見交換

「高校教員を対象とした宇都宮大学入学試験に関する説明会」参加者数
 (教育学部説明に参加した高校教員数)

参加者：人

高等学校所在地	H25	H26	H27	H28	H29	H30
岩手県						1
福島県			2		1	4
茨城県			3	2	3	4
栃木県		8	26	25	27	23
群馬県						
埼玉県			1	1	3	2
東京都						
福井県						
長野県						
合計		8	32	28	34	34

※平成30年度のみ学部毎に分かれずに実施

県内高校の進路指導教員との意見交換

「高校教員を対象とした群馬大学入学試験に関する説明会」参加者数
 (教育学部説明に参加した高校教員数)

参加者：人

高等学校所在地	H25	H26	H27	H28	H29	H30
山形県	1					
茨城県	1	1	2	2		1
栃木県	2	2	4	3	4	9
群馬県	32	28	39	33	33	62
埼玉県	5	3	8	7	6	11
東京都						1
福井県						1
長野県	2		1		1	1
合計	43	34	54	45	44	86

宇都宮大学教育学部

年度	出前講義
平成26年度	18
平成27年度	14
平成28年度	23
平成29年度	13
平成30年度	18

群馬大学教育学部

【過去5年間の大学見学会及び出張模擬授業の回数】

年度	見学会	出張模擬授業等
平成26年度	15	35
平成27年度	14	41
平成28年度	14	32
平成29年度	12	34
平成30年度	15	34

年度	開催場所	連携事業名	目的
26	栃木県総合教育センター	第5期とちぎの教育未来塾	(1) 教職経験5年以内の若い教員が、自主的・継続的な研修を通して、教師としての基礎を確立するとともに、学生等を交えたグループ協議等を通して、先輩教員としての自覚を高める。 (2) 栃木県の公立学校の教員を目指す学生等が、実際の学校現場で指導に当たっている若い教員と共に学ぶことを通して、教師としての基本的な事柄を理解し、教職に対する情熱・使命感を高める。
	県内	とちぎ県民カレッジ	●健康・スポーツコース 健康やスポーツなどに関する教室や講座です。 ●文化・教養コース 文学、芸術、政治・経済、時事問題、教育等を広く学習する講座です。 ●地域活動コース 地域の団体活動やボランティア活動に必要な知識や技能を習得するための講座です。 ●能力・自己開発コース 職業や日常生活に必要な知識や技能を習得するための講座です。 ●郷土理解コース 郷土の歴史、文化などの学習や自然とのふれあいをすすめる講座です。
	県内	とちぎ子ども未来創造大学	理系4コース、文系3コース、学び方1コースの全8コースで実施。 とちぎ子ども大学では、その場所で見られないもの、体験できないことなど、「本物」に触れる学びや栃木県で活躍している専門家の先生方の授業を受けることができる。
27	栃木県総合教育センター	第6期とちぎの教育未来塾	(1) 教職経験5年以内の若い教員が、自主的・継続的な研修を通して、教師としての基礎を確立するとともに、学生等を交えたグループ協議等を通して、先輩教員としての自覚を高める。 (2) 栃木県の公立学校の教員を目指す学生等が、実際の学校現場で指導に当たっている若い教員と共に学ぶことを通して、教師としての基本的な事柄を理解し、教職に対する情熱・使命感を高める。
	県内	とちぎ県民カレッジ	●健康・スポーツコース 健康やスポーツなどに関する教室や講座です。 ●文化・教養コース 文学、芸術、政治・経済、時事問題、教育等を広く学習する講座です。 ●地域活動コース 地域の団体活動やボランティア活動に必要な知識や技能を習得するための講座です。 ●能力・自己開発コース 職業や日常生活に必要な知識や技能を習得するための講座です。 ●郷土理解コース 郷土の歴史、文化などの学習や自然とのふれあいをすすめる講座です。
	県内	とちぎ子ども未来創造大学	理系4コース、文系3コース、学び方1コースの全8コースで実施。 とちぎ子ども大学では、その場所で見られないもの、体験できないことなど、「本物」に触れる学びや栃木県で活躍している専門家の先生方の授業を受けることができる。
28	栃木県総合教育センター	第7期とちぎの教育未来塾	(1) 教職経験5年以内の若い教員が、自主的・継続的な研修を通して、教師としての基礎を確立するとともに、学生等を交えたグループ協議等を通して、先輩教員としての自覚を高める。 (2) 栃木県の公立学校の教員を目指す学生等が、実際の学校現場で指導に当たっている若い教員と共に学ぶことを通して、教師としての基本的な事柄を理解し、教職に対する情熱・使命感を高める。
	県内	とちぎ県民カレッジ	●健康・スポーツコース 健康やスポーツなどに関する教室や講座です。 ●文化・教養コース 文学、芸術、政治・経済、時事問題、教育等を広く学習する講座です。 ●地域活動コース 地域の団体活動やボランティア活動に必要な知識や技能を習得するための講座です。 ●能力・自己開発コース 職業や日常生活に必要な知識や技能を習得するための講座です。 ●郷土理解コース 郷土の歴史、文化などの学習や自然とのふれあいをすすめる講座です。
	県内	とちぎ子ども未来創造大学	理系4コース、文系3コース、学び方1コースの全8コースで実施。 とちぎ子ども大学では、その場所で見られないもの、体験できないことなど、「本物」に触れる学びや栃木県で活躍している専門家の先生方の授業を受けることができる。
29	栃木県総合教育センター	第8期とちぎの教育未来塾	(1) 教職経験5年以内の若い教員が、自主的・継続的な研修を通して、教師としての基礎を確立するとともに、学生等を交えたグループ協議等を通して、先輩教員としての自覚を高める。 (2) 栃木県の公立学校の教員を目指す学生等が、実際の学校現場で指導に当たっている若い教員と共に学ぶことを通して、教師としての基本的な事柄を理解し、教職に対する情熱・使命感を高める。 (3) 栃木県の公立学校の教員を目指す学生等が、実際の学校現場で指導に当たっている若い教員と共に学ぶことを通して、教師としての基本的な事柄を理解し、教職に対する情熱・使命感を高める。
	県内	とちぎ県民カレッジ	●健康・スポーツコース 健康やスポーツなどに関する教室や講座です。 ●文化・教養コース 文学、芸術、政治・経済、時事問題、教育等を広く学習する講座です。 ●地域活動コース 地域の団体活動やボランティア活動に必要な知識や技能を習得するための講座です。 ●能力・自己開発コース 職業や日常生活に必要な知識や技能を習得するための講座です。 ●郷土理解コース 郷土の歴史、文化などの学習や自然とのふれあいをすすめる講座です。
	県内	とちぎ子ども未来創造大学	理系4コース、文系3コース、学び方1コースの全8コースで実施。 とちぎ子ども大学では、その場所で見られないもの、体験できないことなど、「本物」に触れる学びや栃木県で活躍している専門家の先生方の授業を受けることができる。
30	栃木県総合教育センター	第9期とちぎの教育未来塾	(1) 教職経験5年以内の若い教員が、自主的・継続的な研修を通して、教師としての基礎を確立するとともに、学生等を交えたグループ協議等を通して、先輩教員としての自覚を高める。 (2) 栃木県の公立学校の教員を目指す学生等が、実際の学校現場で指導に当たっている若い教員と共に学ぶことを通して、教師としての基本的な事柄を理解し、教職に対する情熱・使命感を高める。 (3) 栃木県の公立学校の教員を目指す学生等が、実際の学校現場で指導に当たっている若い教員と共に学ぶことを通して、教師としての基本的な事柄を理解し、教職に対する情熱・使命感を高める。
	県内	とちぎ県民カレッジ	●健康・スポーツコース 健康やスポーツなどに関する教室や講座です。 ●文化・教養コース 文学、芸術、政治・経済、時事問題、教育等を広く学習する講座です。 ●地域活動コース 地域の団体活動やボランティア活動に必要な知識や技能を習得するための講座です。 ●能力・自己開発コース 職業や日常生活に必要な知識や技能を習得するための講座です。 ●郷土理解コース 郷土の歴史、文化などの学習や自然とのふれあいをすすめる講座です。
	県内	とちぎ子ども未来創造大学	理系4コース、文系3コース、学び方1コースの全8コースで実施。 とちぎ子ども大学では、その場所で見られないもの、体験できないことなど、「本物」に触れる学びや栃木県で活躍している専門家の先生方の授業を受けることができる。

年度	連携に係る協議会		連携事業	共同研究
	開催日	開催場所		
26	平成26年7月3日(木) 平成27年3月19日(木)	群馬大学 群馬県教育委員会	・シンポジウムの開催(別紙参照) ・科学の甲子園群馬大会 ・実践交流会(別紙参照) ・事例検討会	・小学校における体育授業プログラムの開発 ・理数科教育の充実に関する研究 ・「いじめ」問題の解決に向けた教育課題解決モデルの構築 ・特別支援教育の充実 ・ぐんま「確かな学力」育成プロジェクト
27	平成27年6月25日(木) 平成28年2月15日(月)	群馬大学 群馬県教育委員会	・実践交流会(別紙参照) ・科学の甲子園群馬大会 ・事例検討会	・小学校における体育授業プログラムの開発 ・理数科教育の充実に関する研究 ・「いじめ」問題の解決に向けた教育課題解決モデルの構築 ・特別支援教育の充実 ・ぐんま「確かな学力」育成プロジェクト
28	平成28年7月15日(金) 平成29年2月6日(月)	群馬大学 群馬県教育委員会	・シンポジウムの開催(別紙参照) ・科学の甲子園群馬大会	・小学校における体育授業プログラムの開発 ・理数科教育の充実に関する研究 ・「いじめ」問題の解決に向けた教育課題解決モデルの構築 ・特別支援教育の充実 ・新たな英語教育のコミュニケーション能力育成に向けた4技能評価
29	平成29年7月11日(火) 平成30年2月2日(金)	群馬大学 群馬県教育委員会	・シンポジウムの開催(別紙参照) ・科学の甲子園群馬大会	・小学校における体育授業プログラムの開発 ・理数科教育の充実に関する研究 ・「いじめ」問題の解決に向けた教育課題解決モデルの構築 ・特別支援教育の充実 ・新たな英語教育のコミュニケーション能力育成に向けた4技能評価
30	平成30年7月20日(金) 平成31年3月11日(月) (第2回目は予定)	群馬大学 群馬県教育委員会	・シンポジウムの開催(別紙参照) ・科学の甲子園群馬大会の開催	・小学校における体育授業の充実 ・理数科教育の充実に関する研究 ・親の学びプログラムの作成と普及 ・特別支援教育の充実 ・新たな英語教育のコミュニケーション能力育成に向けた4技能評価

シンポジウム・実践交流会開催状況

開催日	会場	実施形態	テーマ	参加者数	備考
平成2	群馬大学 教育学部	実践交流会	【ぐんまの教師力を高める 2014】 講演「学習支援のツボー認知心理学者が教室で考えたことー」 分科会 第1分科会 小学校の体育授業プログラムを活用した授業づくり 第2分科会 大学と現場との往還による「理科実験力」の向上 第3分科会 「いじめ」問題の解決を通じた教育課題解決モデルの実際 第4分科会 『はげたく群馬の指導者さん!』	232人	【主催】国立大学法人群馬大学と群馬県教育委員会との連携に係る協議会 【共催】前橋市教育委員会
平成2	群馬大学 大学会館	シンポジウム	【ぐんまの教師力を高める 2014】 講演「教員養成改善・充実について」 報告「教員養成・研修における大学と教育委員会・学校現場との連携」 パネルディスカッション「大学と教育委員会」	110人	〃
平成2	群馬大学 教育学部	実践交流会	【ぐんまの教師力を高める 2015】 講演「インクルーシブ教育システムの構築に向けた特別支援教育の推進」 分科会 第1分科会 小学校低学年の体育授業プログラムを活用した授業づくり 第2分科会 大学が関わる「理科実験力」向上の方策：現場支援から新機軸の教材開発まで 第3分科会 「いじめ」問題の解決を通じた教育課題解決モデルの実際 第4分科会 実践から考える合理的な配慮～エリアモデル校の取組と交流及び共同学習から	224人	〃
平成2	群馬大学 教育学部	シンポジウム	【ぐんまの教師力を高める 2016】 「アクティブ・ラーニングとは何かーその実践例をもとにー」	126人	〃
平成2	群馬大学 教育学部	シンポジウム	【ぐんまの教師力を高める 2017】 「アクティブ・ラーニングとは何か<第2回>ー社会科・算数科における実践例をもとにー」	126人	〃
平成3	群馬大学 教育学部	シンポジウム	【ぐんまの教師力を高める 2018】 「アクティブ・ラーニングとは何か<第3回>ー『つくる、みる、振り返る』の循環システム」	90人	〃

シンポジウム・実践交流会開催状況

開催日	会場	実施形態	テーマ	参加者数	備考
平成26年6月1日(日)	群馬大学 教育学部	実践交流会	【ぐんまの教師力を高める 2014】 講演「学習支援のツボー認知心理学者が教室で考えたことー」 分科会 第1分科会 小学校の体育授業プログラムを活用した授業づくり 第2分科会 大学と現場との往還による「理科実験力」の向上 第3分科会 「いじめ」問題の解決を通じた教育課題解決モデルの実際 第4分科会 『はばたく群馬の指導プラン』を活用して授業を改善する 第5分科会 授業における協働的な学習環境デザインについて考える	232人	【主催】 国立大学法人群馬大学と群馬県教育委員会との連携に係る協議会 【共催】 前橋市教育委員会
平成26年12月14日(日)	群馬大学 大学会館	シンポジウム	【ぐんまの教師力を高める 2014】 講演「教員養成改善・充実について」 報告「教員養成・研修における大学と教育委員会・学校現場との連携」 パネルディスカッション「大学と教育委員会・学校現場の連携のこれから」	110人	〃
平成27年11月8日(日)	群馬大学 教育学部	実践交流会	【ぐんまの教師力を高める 2015】 講演「インクルーシブ教育システムの構築に向けた特別支援教育の推進」 分科会 第1分科会 小学校低学年の体育授業プログラムを活用した授業づくり 第2分科会 大学が関わる「理科実験力」向上の方策：現場支援から新機軸の教材開発まで 第3分科会 「いじめ」問題の解決を通じた教育課題解決モデルの実際 第4分科会 実践から考える合理的な配慮～エリアモデル校の取組と交流及び共同学習から～ 第5分科会 小・中・高英語教育改革に向けた英語活動「構成・展開力アップ」	224人	〃
平成28年11月20日(日)	群馬大学 教育学部	シンポジウム	【ぐんまの教師力を高める 2016】 「アクティブ・ラーニングとは何かーその実践例をもとにー」	126人	〃
平成29年11月19日(日)	群馬大学 教育学部	シンポジウム	【ぐんまの教師力を高める 2017】 「アクティブ・ラーニングとは何か<第2回>ー社会科・算数科における実践例をもとにー」	126人	〃
平成30年11月18日(日)	群馬大学 教育学部	シンポジウム	【ぐんまの教師力を高める 2018】 「アクティブ・ラーニングとは何か<第3回>ー『つくる、みる、振り返る』の循環システムを取り入れた授業づくりー」	90人	〃

とちぎの求める教師像

～自信と誇りをもって子どもたちと向き合える教師～

人間性豊かで信頼される教師
幅広い視野と確かな指導力をもった教師
教育的愛情と使命感をもった教師

	採用時の姿	ステージⅠ (おおむね1年目～5年目)	ステージⅡ (おおむね6年目～10年目)	ステージⅢ (おおむね11年目～19年目)	ステージⅣ (おおむね20年目～)
全体指標	教員としての基礎・基本を理解するとともに、教職生活全体を通して自律的に学び続けようとする強い意志を持っている。	教育活動に必要な基礎的・基本的な知識・技能を身に付けるとともに、同僚からの助言等を得ながら職務を遂行している。	専門的な知識・技能や、新たな教育課題に対応する実践的指導力を身に付けるとともに、同僚と協働しながら職務を遂行している。	学校の課題解決を目指し、組織を活性化させたり企画力・実践力を発揮したりするなど、ミドルリーダーとして学校運営に積極的に参画している。	教職生活を通して培った経験のもとリーダーシップを発揮し、学校の教育目標の達成を目指して積極的に学校経営を支え続けている。

○学習指導に関する指標

	採用時の姿	ステージⅠ (おおむね1年目～5年目)	ステージⅡ (おおむね6年目～10年目)	ステージⅢ (おおむね11年目～19年目)	ステージⅣ (おおむね20年目～)
学習指導全般	学習指導の基礎・基本を理解するとともに、指導力の向上を目指して学び続けようとする強い意志を持っている。	学習指導の基礎・基本を身に付けるとともに、児童生徒の実態をとらえ、同僚からの助言等を得ながら、指導の工夫・改善を図っている。	指導資料の活用や研修会への参加、同僚との情報交換等を通して、児童生徒の主体的な学びを促す学習指導の工夫・改善を図っている。	学習指導上の課題解決に向けた対策を積極的に提案するとともに、学年や部、教職員間の連絡・調整及び実践においてミドルリーダーとしての役割を果たしている。	若手・中堅教員等に学習指導の範を示すとともに、課題解決に向けて、教育課程の見直しや授業改善等にリーダーシップを発揮している。
指導計画等の立案・実施	教育目標の実現に向けて、指導計画に基づいて学習指導を行うことの大切さを理解している。	学習指導要領や年間指導計画等に基づき、指導目標や評価計画、指導内容等を適切に設定して学習指導案を作成している。	学習指導上の課題を把握し、同僚と情報交換を行いながら指導計画の工夫・改善を図っている。	学年間の接続や教科横断的な視点などから、学校全体を視野に入れた指導計画の工夫・改善を図っている。	学校の教育目標の実現に向けたカリキュラム・マネジメントの改善・充実にリーダーシップを発揮している。
指導方法・教材研究の工夫	授業の基本技術	授業展開の仕方や教材研究の進め方を理解している。	話し方、板書の仕方、発問の仕方等の基本技術を身に付けるとともに、児童生徒の理解度や反応などを的確に捉え、同僚の助言等を得ながら、指導方法の工夫・改善に努めている。	研修会への参加や同僚との情報交換等を通して、授業力の向上に積極的に取り組んでいる。	児童生徒の実態を踏まえ、教科や学年を越えて同僚と協働しながら、授業力の向上に積極的に取り組んでいる。
	教材研究		授業のねらいを明確にするとともに、ICT機器などの教材・教具を工夫するなど、児童生徒の理解を深めるための指導の工夫を行っている。	研修会への参加や同僚との情報交換等を通して、児童生徒の理解を深めるための教材の開発や指導の工夫に取り組んでいる。	教材の選定や指導方法、指導形態等について研究を続けるとともに、同僚への支援・助言を積極的に行っている。
評価の工夫	指導と評価の一体化を進める大切さを理解している。	児童生徒の学習状況を確実に把握し指導に生かすことができるよう、同僚からの助言等を得ながら評価方法の工夫・改善に努めている。	児童生徒の学習状況をより多面的に把握し指導に生かすことができるよう、同僚と協働しながら評価方法の工夫・改善に努めている。	学習指導上の課題を踏まえ、改善に向けた評価方法等について同僚と協働しながら組織的に研究、実践している。	指導と評価が一体となった評価方法等について研究を続けるとともに、同僚への支援・助言を行っている。

○児童・生徒指導に関する指標

	採用時の姿	ステージⅠ (おおむね1年目～5年目)	ステージⅡ (おおむね6年目～10年目)	ステージⅢ (おおむね11年目～19年目)	ステージⅣ (おおむね20年目～)
児童・生徒指導全般	児童・生徒指導の基礎・基本を理解しているとともに、指導力の向上を目指して学び続けようとする強い意志を持っている。	児童・生徒指導の基礎・基本を身に付けるとともに、児童生徒の実態をとらえ、同僚からの助言等を得ながら、指導の工夫・改善を図っている。	指導資料の活用や研修会への参加、同僚との情報交換等を通して、指導の工夫・改善を図っている。	児童・生徒指導上の課題解決に向けた対策を積極的に提案するとともに、学年や部、教職員間の連絡・調整及び実践において、ミドルリーダーとしての役割を果たしている。	若手・中堅教員等に児童・生徒指導の範を示すとともに、課題解決に向け、指導計画の見直しや関係機関等との連携等にリーダーシップを発揮している。
児童生徒との信頼関係の構築	児童生徒理解	児童・生徒指導における児童生徒理解と信頼関係づくりの大切さを理解している。	日常的な関わりや同僚からの情報を得ながら、児童生徒の性格や心身の状況等の把握に努めている。	同僚と積極的に情報交換を行うなどして、児童生徒の多面的・多角的な理解に努めている。	児童生徒一人一人に関する様々な情報を学年や学校全体で共有できるよう、教職員間の連絡・調整に当たっている。
	信頼関係づくり・教育相談		カウンセリングマインドをもって児童生徒一人一人に共感的、受容的に接し、信頼関係の構築に努めている。	研修等を通して教育相談の基本を学び、児童生徒の相談を受け止め、適切に対応することにより、信頼関係を築いている。	児童生徒の悩み等を的確に把握し、問題解決に向けて同僚と協働しながら対応している。
児童生徒への指導・援助	予防的・開発的な児童・生徒指導	児童・生徒指導の意義とともに、いじめ、不登校等への対応の基本について理解している。	基本的な生活習慣を身に付けさせる指導に、同僚からの助言等を得ながら取り組んでいる。	集団指導や個別指導を通して、自己指導能力を育む児童・生徒指導に同僚と協働しながら取り組んでいる。	児童生徒の自己指導能力を育む方を積極的に提案するとともに、学年や部を越えて実践できるように連絡・調整に努めている。
	問題行動等への対応		組織的な対応の重要性を理解するとともに、日頃から児童生徒の様子を観察し、問題行動等の未然防止、早期発見、迅速な対応に努めている。	事例研究等を通して問題行動等への対応について理解を深めるとともに、問題行動等に対して同僚と協働しながら対応している。	問題行動等の背景、原因を的確に把握し、解決のための方策を考えるとともに、関係職員と連携しながら組織的に対応している。
	特別活動、進路指導等への取組		特別活動や進路指導等の意義を理解し、同僚からの助言等を得ながら指導している。	キャリア教育の視点をもち、同僚と協働しながら、個に応じた適切な指導を行っている。	学校の特色を生かした効果的な特別活動、進路指導等の在り方について具体策を考え、同僚と協働しながら組織的に取り組んでいる。

○参画・経営に関する指標

	採用時の姿	ステージⅠ (おおむね1年目～5年目)	ステージⅡ (おおむね6年目～10年目)	ステージⅢ (おおむね11年目～19年目)	ステージⅣ (おおむね20年目～)
参画・経営全般	組織の一員として自分の役割を果たそうとする強い意志をもっている。	「報告・連絡・相談」を確実に行うとともに、同僚からの助言等を得ながら、校務分掌の遂行に当たっている。	社会の変化に目を向け、広い視野をもつとともに、同僚と協働しながら校務に組織的に取り組んでいる。	学校経営上の課題解決に向けた対策を積極的に提案するとともに、学年や部、教職員間の連絡・調整及び実践において、ミドルリーダーとしての役割を果たしている。	リーダーシップを発揮しながら同僚の意欲の向上や組織力の強化を図るとともに、学校の教育目標の達成に向けて積極的に学校経営に参画している。
校務分掌への取組	校務の一端を担い、組織の一員として働くことの大切さを理解している。	担当する校務分掌について、同僚からの助言等を得ながら、迅速・正確に処理している。	担当する校務分掌について、同僚と協働しながら、工夫・改善しながら取り組んでいる。	校務分掌への取組を通して学校の課題を把握し、他の校務分掌との連携を図りながら、改善に努めている。	学校の教育目標の達成に向けて校務分掌に取り組むとともに、組織間の連携が図られるよう、同僚への支援・助言に積極的に取り組んでいる。
学級・学年経営・参画	学級・学年経営の一員として、組織的に対応することの大切さを理解している。	学年主任や他の担任の助言等を得ながら、学びに向かう集団に高めていくための学業指導の充実に取り組んでいる。	担当する学級及び学年の現状を把握し、同僚と協働しながら、学級・学年経営に参画している。	学校の教育目標等に基づき、同僚と協働しながら、よりよい学級経営・学年経営を目指して、工夫・改善に取り組んでいる。	学年全体の学級経営の現状を把握し、学校の教育目標等の実現に向けて、リーダーシップを発揮しながら、組織的な学年経営に取り組んでいる。
学校経営への参画	組織の一員として、組織的に対応することの大切さを理解している。	「報告・連絡・相談」を確実にしながら、校内組織での自らの役割を果たしている。	学校経営方針を理解し、同僚と協働しながら、校務に組織的に取り組んでいる。	学校組織マネジメント、カリキュラム・マネジメントについて理解し、学校の教育目標の達成、学校経営上の課題の解決のために積極的に取り組んでいる。	学校の教育目標の達成や学校経営上の課題の解決に向けた組織体制づくりにリーダーシップを発揮しているとともに、同僚への支援・助言を積極的に行っている。
日常の教育活動における安全確保	全ての教育活動の基盤となる安全確保の重要性について理解している。	同僚からの助言等を得ながら、教育環境、教育活動の安全確認に努めている。	学校の安全計画を理解し、同僚と協働しながら確実な実施に努めている。	安全担当者等と協働しながら、事故の未然防止に努めるとともに、安全上の課題の把握に努め、その解消に速やかに取り組んでいる。	日頃より事故の未然防止に努めるとともに、事故発生を想定した具体的な対応について、同僚と十分に共通理解を図り、支援・助言を行っている。
家庭・地域・関係機関等との連携	家庭・地域・関係機関等と連携・協働することの大切さを理解している。	学習指導、児童・生徒指導をはじめとする校務全般において、同僚からの助言等を得ながら、家庭や関係機関等との連携・協働に努めている。	学校内外の関係者との情報交換を積極的に行い、家庭や関係機関等との連携・協働の促進に努めている。	家庭や関係機関等との連携・協働がより効果的なものとなるよう、学校内外の関係者との連絡・調整を積極的に行っている。	家庭や関係機関等への情報提供や連携・協働の方法について、同僚への支援・助言に努めるとともに、校内の組織体制づくりにリーダーシップを発揮している。

○意欲・態度に関する指標

		採用時の姿	ステージⅠ～ステージⅣ
教育的愛情・熱意	教育的愛情	教育的愛情と使命感をもった教師になるという強い意志をもっている。	児童生徒に教育的愛情をもって接している。
	信念、熱意		正しい信念のもと、熱意と使命感をもって仕事に取り組んでいる。
	人権尊重の精神		人権尊重の観点を重視し教育活動を行っている。
誠実・品位、公正、法令の遵守等	誠実・品位		礼儀正しい態度で誠実に仕事に取り組んでいる。
	公正		偏りが無い見方・考え方で公正に勤務している。
	法令の遵守		職務・勤務の在り方を自覚し、厳正に勤務している。
責任感・寛容性・協調性等	責任感		責任をもって職務を遂行している。
	寛容性		異なる意見・立場を尊重し、職務にあたっている。
	協調性		同僚と協調して職務にあたっている。
研修に対する意欲			自己の能力向上のために、研究と修養に取り組んでいる。

I 群馬県が求める教員像

1 社会人としての優れた識見を有する教員

- 広く豊かな教養を身に付け、社会人として適切に判断して行動することができる。
- 高い倫理観と規範意識を備え、児童生徒の鑑（手本）となる言動をとることができる。
- 自らの職責を自覚し、責任をもって職務を遂行することができる。

2 幅広い視野と高い専門性を有する教員

- 教科等に関する専門的な知識や技能を有し、主体的・対話的で深い学びにより、群馬の子供たちに「時代を切り拓く力」を育むことができる。
- 情報化やグローバル化など社会の変化をとらえ、専門性を高めるために日々努力し、学び続けることができる。
- 児童生徒の実態や発達の段階を踏まえ、一人一人の多様性を尊重し、その可能性を最大限に伸ばすとともに、共生社会の形成を目指すことができる。
- 学校教育目標の実現に向けて、保護者や地域の思いや願いを生かしながら、組織的・計画的に教育活動を行うことができる。

3 豊かな人間性とコミュニケーション能力を有する教員

- 教育的愛情と指導への情熱をもち、多様な考えや特性を認めながら児童生徒の可能性を伸ばすことができる。
- 組織の一員としての自覚をもって連携・協力するとともに、互いに高め合うことができる。
- 郷土の歴史や文化、生活等について理解し、保護者や地域、関係機関等と連携することができる。

II ステージごとの求める資質能力

群馬県の教員としての基礎的素養

教育的愛情・情熱

使命感・責任感

規範意識・人権感覚

コミュニケーション能力

学び続ける姿勢

教職課程修了時

キャリア段階Ⅰ

キャリア段階Ⅱ

キャリア段階Ⅲ

管理職

基礎形成期

資質向上・充実期

資質発展・円熟期

＜教職課程修了時＞

- 児童生徒への教育的愛情
 - 教職の意義や教員の役割等についての理解
 - 学習指導等についての基礎的・基本的な知識
 - 社会人としての常識・識見
 - 郷土(ふるさと群馬)への理解
- など

＜キャリア段階Ⅰ＞

- 児童生徒理解
- 基礎的・基本的な指導力
- 組織の一員としての自覚
- 自己の課題を把握する力
- 保護者や地域と連携する力 など

＜キャリア段階Ⅱ＞

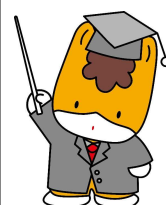
- 実践的な指導力
- 周囲の教職員に助言する力
- 関係する教職員と連携する力
- 学校経営に積極的に参画する力
- 保護者や地域と協働する力 など

＜キャリア段階Ⅲ＞

- 学校全体の課題を把握する力
- 課題解決に向けて具体策を提案する力
- 組織的な取組に向けた企画力・調整力
- 若手教員を育成する力
- 保護者や地域との協力体制を築く力 など

＜管理職＞

- 学校経営に関する専門的知識
 - リーダーシップ
 - 判断力・決断力
 - マネジメント力
 - 人材育成力
 - 危機管理能力
- など



総第 499 号

平成 31 (2019) 年 3 月 25 日

宇都宮大学教育学部長 様

栃木県教育委員会教育長



群馬大学との共同教育学部構想への期待について

この度、貴学部が進めている群馬大学との共同教育学部構想は、教員養成の高度化を図り、本県における義務教育学校段階の教員を長期にわたって安定的に養成する上で極めて重要であり、今後ますます必要とされる質の高い教員確保の観点から支持いたします。

特に、以下の 3 点について、大いに期待しております。

1 教員需要の減少期において安定した教員養成を継続できること

少子化により、教員需要は今後ますます落ち込むことが予想されており、このままでは教員養成学部の縮小は避けられない状況です。その際、技術・家庭、音楽、美術等、定員の少ない教科の免許課程の維持が困難になることが心配されます。今回の共同教育学部構想は、2 大学で全ての教科の免許課程を長期的に維持しようとするものであり、本県の教育界にとっても大変望ましい改革の方向であると考えます。

2 特別支援学校教員養成の充実

特別支援学校においては、特別支援学校教諭免許状を保有する教員の割合が現在約 70% であり、特別支援学校教員免許を保有する教員の養成が急務となっています。特に、聴覚障害および視覚障害領域の免許保有率は 60% を下回っており、その要因として、聴覚障害および視覚障害領域の教員養成を実施している大学が非常に少ないことが挙げられます。今回の共同教育学部構想において、貴学部が特別支援学校の教員養成にさらに力を入れ、特に、聴覚障害及び視覚障害を含む 5 領域すべての特別支援学校教諭免許が取得可能になることは、これらの課題の解決に向けて大きな役割を果たすものと期待しております。

3 現代的課題に対応できる質の高い教員養成が可能となること

情報技術の進展により超スマート社会 (Society5.0) の到来が予想されています。また、グローバル化への対応や持続可能な社会の構築など、地球規模の課題への対応が求められています。共同教育学部化により、両大学の資源を有効活用し、現代的な諸課題に対応する資質能力の育成のための Forefront 科目を設置することは、次世代を担う子どもたちの教育に当たる教員の養成に資する大変重要な構想であり、その効果に大いに期待しております。

平成 31 年 3 月 19 日

宇都宮大学教育学部長 様

栃木県高等学校長会長

大橋 芳樹



群馬大学との共同教育学部構想への期待について

現在貴学部で進めている群馬大学との共同教育学部構想につきましては、委員として参加している「宇都宮大学教育学部教員養成連携協議会」や高校訪問などをおして詳細な説明を受けております。栃木県高等学校長会としましては、教員をめざす高校生にとってより充実した魅力的な教育が提供されるものとして、共同教育学部構想を支持いたします。

特に、以下の3点については大いに期待しております。

1 教員需要の減少期において安定した教員養成を継続できること

現在全国的に少子高齢化が進展しており、就学期児童生徒数の減少によって、教員需要の落ち込みが予想されています。それに伴い、貴学部をはじめとする教員養成学部の縮小が懸念されます。特に、技術・家庭、音楽、美術等の授業数の少ない教科の教員養成が滞ることが強く懸念されます。貴学部の共同教育学部構想は、2大学が共同して教員養成を行うことによって、今後長期にわたってこれらの教科も含めたフルセットの教員養成を担保するものであり、様々な教科の教員をめざす高校生の要望に応えるものであります。

2 特別支援学校教員養成の充実

特別支援学校においては、特別支援学校教諭免許状を保有する教員の割合が約70%であり、引き続き特別支援学校教諭免許を保有する教員の養成が急務であることが全国的な課題となっております。特に、聴覚障害および視覚障害領域の免許保有率が60%を切っており、大きな問題であります。今回の共同教育学部構想において、貴学部が特別支援学校の教員養成にさらに力を入れ、特に、聴覚障害及び視覚障害を含む5領域すべての特別支援学校教諭免許の取得が可能になることは、これらの問題を解決するうえで非常に重要であるとともに、様々な障害種の特別支援教育に興味のある高校生の要望に幅広く応えるものであります。

3 幅広い専門分野を学べること

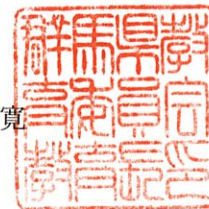
情報技術革新の一層の進展による超スマート社会（Society5.0）の到来が予想され、また、グローバル化の進展や持続可能な社会の構築など、地球規模の人類共通の課題が増大しております。貴学部の共同教育学部構想において、両大学の資源を活用してこれらの現代的課題に対する資質能力の育成のための Forefront 科目の設置を計画していることは、次世代を担う子どもたちの教育に当たる教員の養成に資する大変重要な構想であり、その効果が大いに期待されます。

さらに、両大学の教員が共同することにより幅広い専門分野の指導を地元の大学で受けられることは、教員をめざす高校生にとっては非常に魅力的であるといえます。

平成31年4月5日

群馬大学
学長 平塚浩士 様

群馬県教育委員会
教育長 笠原 寛



群馬大学共同教育学部設置に関する要望書

日頃より、本県教育の充実・発展及び教員の養成に御尽力いただき、厚く御礼申し上げます。

これまで貴大学教育学部には、多くの有為な人材を本県教育界に輩出していただき、今般の宇都宮大学との連携による新たな共同教育学部の設置については、当教育委員会としても期待を寄せているところです。

近年、人口減少の加速化と人口構成の変化に加え、急速な技術革新やグローバル化・情報化の進展など、教育を取り巻く環境は大きく変化しています。本県においても新学習指導要領への対応、いじめや不登校の問題、特別支援教育の充実等、多くの教育課題が山積しています。このような課題の解決に向けては、より高い専門性と実践力を備えた教員の養成が重要と考えます。

つきましては、現在、貴大学が進めている共同教育学部の設置について、下記のことにお配意いただきますようお願い申し上げます。

記

1 中学校10教科及び特別支援学校5領域の教員の養成

本県の教育水準の維持・向上のためには、すべての教科等において安定的に教員を配置できることが非常に重要であることから、貴大学には中学校10教科の教員養成を継続していただき、さらなる質の向上を図られるよう要望します。また、本県では特別支援学校の拡充を進めており、教員の特別支援学校免許状保有率の向上に努めていることから、特別支援学校教員の養成に向けて5領域の免許状を取得できる体制の継続を要望します。

2 小学校・中学校両方の免許状を所有する教員の養成

本県では、義務教育9年間の継続性及び小学校と中学校の接続を意識した教育活動の展開が重要と考え、両校種の免許状を取得することを奨励しています。また、学校課題の解決や教員の資質向上に向けて、人事異動においては小・中学校間の交流を積極的に行っています。そのため、新規に採用する教員については、小・中学校両方の免許状を取得していることが望ましいと考えており、新たに設置される共同教育学部においても両校種の免許状が取得できる体制の継続を要望します。

平成31年4月16日

群馬大学

学長 平塚浩士 様

群馬県高等学校長協会

会長 大栗勇



群馬大学共同教育学部設置に関する要望書

日頃より、群馬県内の高等学校・中等教育学校・特別支援学校における教育活動等に対しまして、御支援・御指導をいただきまして、誠にありがとうございます。

さて、貴大学では宇都宮大学と共同教育学部設置を検討中とのことであり、教育学部の改編・充実の際には、下記の点に御配慮いただきますようお願い申し上げます。

記

1 特別支援学校教諭免許の全5領域取得可能な課程の設置について

本県の特別支援学校では、障害のある児童・生徒への指導力向上のためにも、教員の特別支援学校免許状保有率を上げるべく努めているところです。特別支援学校により多くの専門性の高い教員を確保するためにも、全ての領域免許が取得できる課程の設置を要望いたします。

2 中学校での全10教科教員免許が取得できる課程の設置について

中学校学習指導要領を実施していく上で必要となる全ての教科の教員免許取得が可能な体制ができるようお願いいたします。本県における拠点の教員養成学部を有する貴大学におかれましては、10教科全ての教員養成ができるよう重ねて要望いたします。